

子ども・子育て支援新制度に係る
電子システム関連基礎データ等調査
調査結果報告書（未就学児調査）

平成 26 年 3 月

小田原市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	3
1	回答者属性	3
2	子どもの育ちをめぐる環境について	5
3	お子さんの保護者の就労状況について	7
4	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	13
5	お子さんの地域の子育て支援の利用状況について	28
6	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	34
7	お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用している方のみ）	37
8	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	43
9	お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	50
10	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	58
11	子育て全般について	67
III	調査結果のまとめ	71
1	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	71
2	子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について	72
3	子どもの病気の際の対応について	72
4	子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	72
5	放課後の過ごし方について	73
6	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	73
7	子育て全般について	73
IV	自由意見のまとめ	74
V	資料	78
	調査票	78

I 調査の概要

1 調査の目的

現在の我が国における急速な少子化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、全ての子どもが健やかに成長できる社会を実現していくため、子ども・子育て支援新制度が施行されます。市町村は、制度の施行にあたり、その事務処理を行うための電子システムを構築する必要があります。

この調査は、電子システムを構築するうえで必要となるシステムの規模・仕様の確定のため、子育て中の家庭の基礎データの把握、および住民の教育・保育等に関する利用意向等のニーズの状況を把握することを目的に実施するものです。

2 調査対象

平成 25 年 11 月 1 日現在で、小田原市在住の未就学児童の保護者

3 調査期間

平成 25 年 11 月 20 日から平成 25 年 12 月 6 日

4 調査方法

郵送配布及び回収

5 回収状況

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
0 歳児 ※	1,659 通	1,023 通	61.7%
1 歳児	1,106 通	630 通	57.0%
2 歳児	1,054 通	565 通	53.6%
3 歳児	1,149 通	624 通	54.3%
4 歳児	1,232 通	613 通	49.8%
5 歳児	1,211 通	627 通	51.8%
年齢回答なし		38 通	-
合計	7,411 通	4,120 通	55.6%

※年齢区分は学年で区切っている。11月の発送のため、0歳児は1年7ヶ月分の児童が対象となっており、配布数が多くなっている。

6 調査結果の表示方法

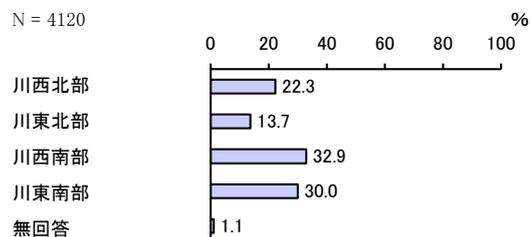
- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- 回答者数が少ない設問については、図表と回答比率の表示はせず、回答件数を表示しています。

II 調査結果

1 回答者属性

問1 お住まいの地区の郵便番号を記入してください。

「川西南部」の割合が32.9%と最も高く、次いで「川東南部」の割合が30.0%、「川西北部」の割合が22.3%となっています。



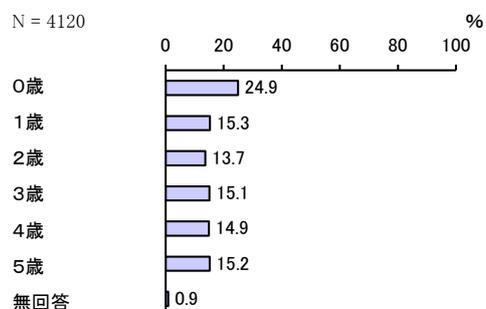
区域わけ	地区
川西北部	蓮正寺、中曽根、飯田岡、堀之内、柳新田、小台、新屋、府川、北ノ窪、清水新田、穴部、穴部新田、曾比、栢山
川東北部	飯泉、成田、桑原、別堀、高田、千代、永塚、東大友、西大友、延清、曾我原、曾我谷津、曾我別所、曾我岸、上曾我、下大井、鬼柳、曾我大沢、曾我光海
川西南部	緑、城山、扇町、十字、荻窪、谷津、池上、井細田、多古、久野、板橋、南板橋、風祭、入生田、水之尾、早川、石橋、米神、根府川、江之浦、栄町、中町、浜町、本町、城内、南町、寿町、東町
川東南部	下堀、中里、矢作、鴨宮、上新田、中新田、下新田、国府津、田島、酒匂、小八幡、南鴨宮、西酒匂、東ヶ丘、前川、羽根尾、中村原、上町、小船、山西、沼代、小竹

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

お子さんの年齢

「0歳」の割合が24.9%と最も高く、次いで「1歳」の割合が15.3%、「5歳」の割合が15.2%となっています。

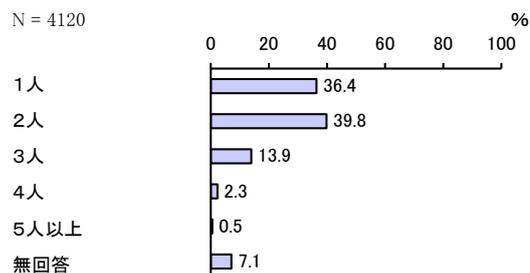
「0歳」の割合が高いのは、年齢別の配布数の違いによるものと考えられます。



問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を記入してください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を記入してください。

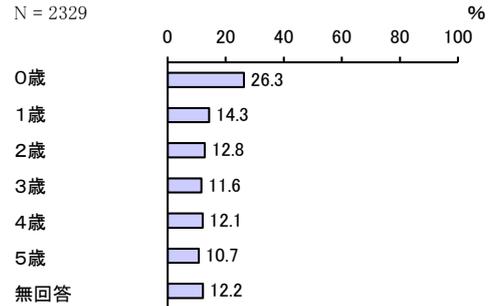
(1) きょうだい数

「2人」の割合が39.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が36.4%、「3人」の割合が13.9%となっています。



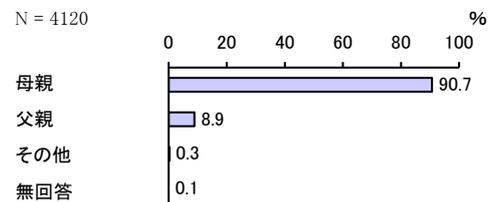
(2) 末子の年齢

「0歳」の割合が26.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が14.3%、「2歳」の割合が12.8%となっています。



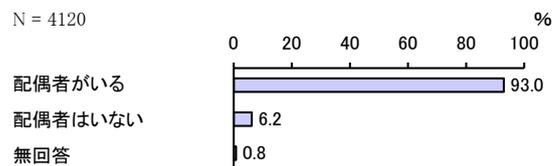
問4 この調査票に回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が90.7%、「父親」の割合が8.9%となっています。



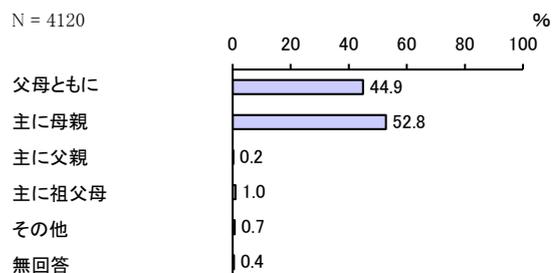
問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が93.0%、「配偶者はいない」の割合が6.2%となっています。



問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

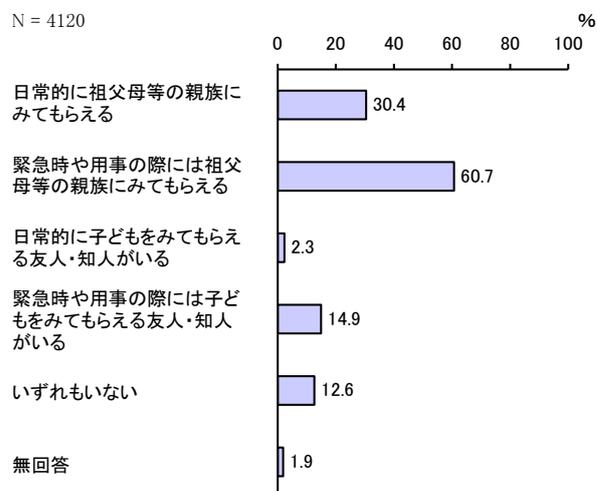
「主に母親」の割合が52.8%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が44.9%となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

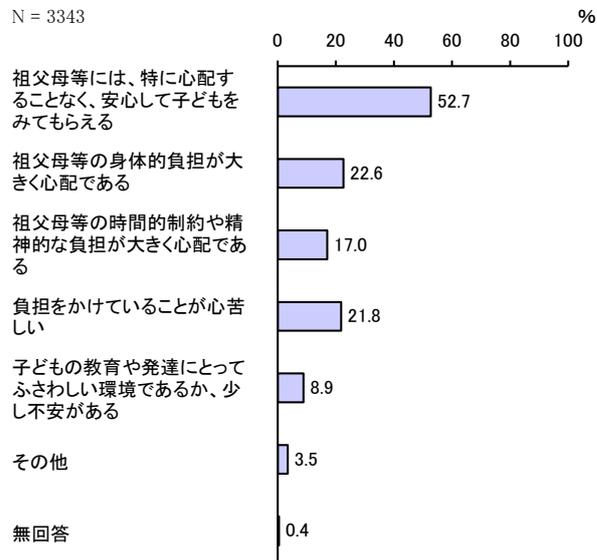
問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が60.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が30.4%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が14.9%となっています。



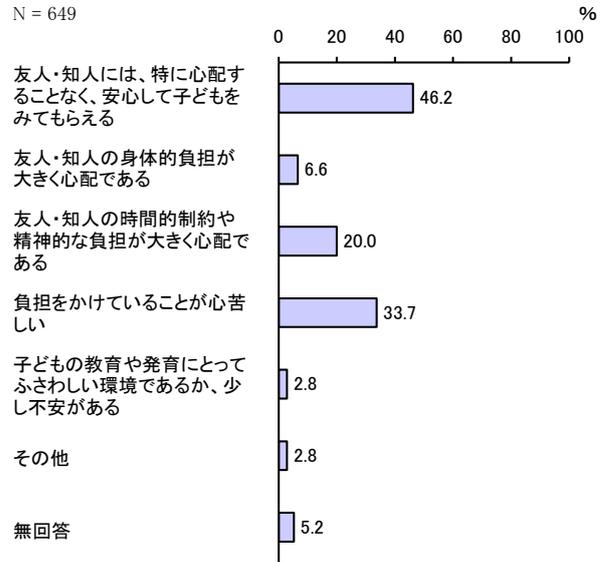
問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等には、特に心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が52.7%と最も高く、次いで「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」の割合が22.6%、「負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.8%となっています。



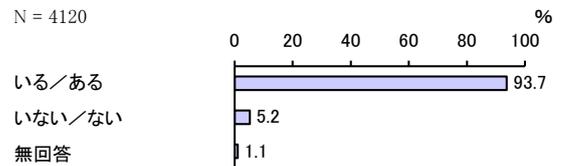
問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人には、特に心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が46.2%と最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」の割合が33.7%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が20.0%となっています。



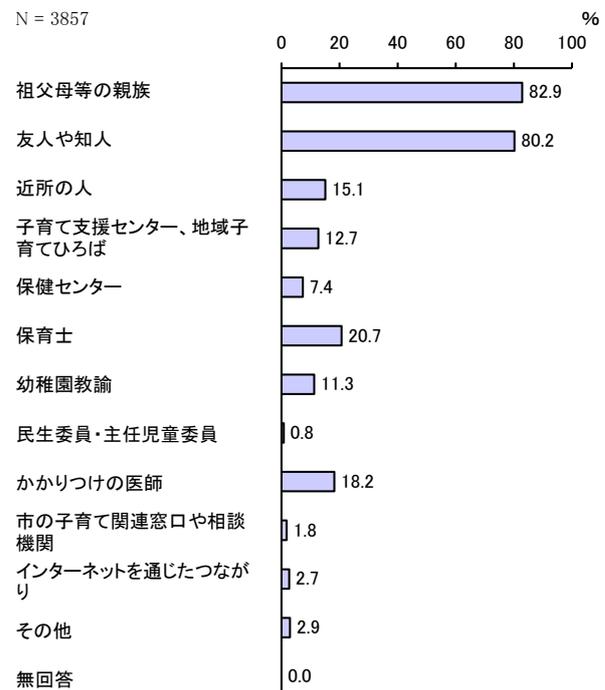
問8 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が93.7%、「いない／ない」の割合が5.2%となっています。



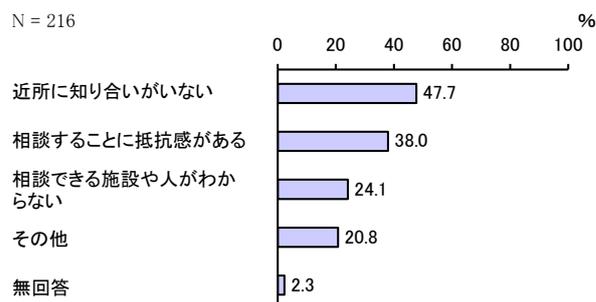
問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が82.9%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が80.2%、「保育士」の割合が20.7%となっています。



問8-2 問8で「2. いない／ない」に○をつけた方に向かってうかがいます。気軽に相談できる人がいない（場所がない）のはどうしてですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「近所に知り合いがいない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「相談することに抵抗感がある」の割合が38.0%、「相談できる施設や人がわからない」の割合が24.1%となっています。

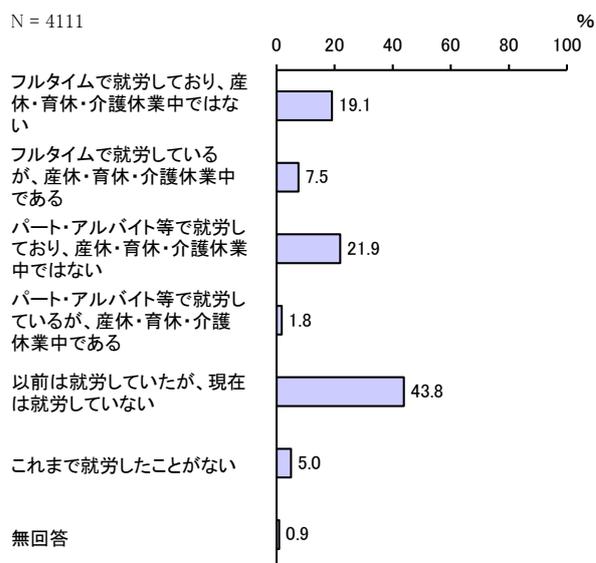


3 お子さんの保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

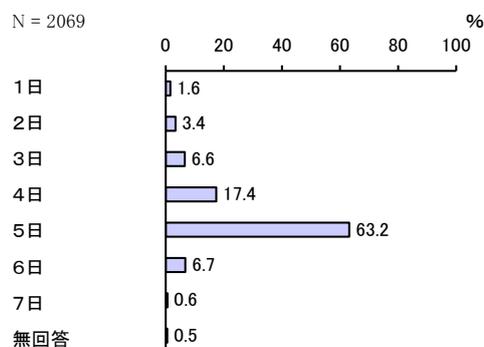
(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が43.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が21.9%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が19.1%となっています。



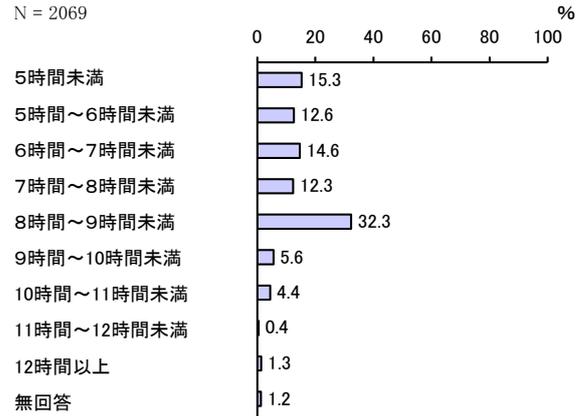
① 1週当たり就労日数

「5日」の割合が63.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が17.4%となっています。



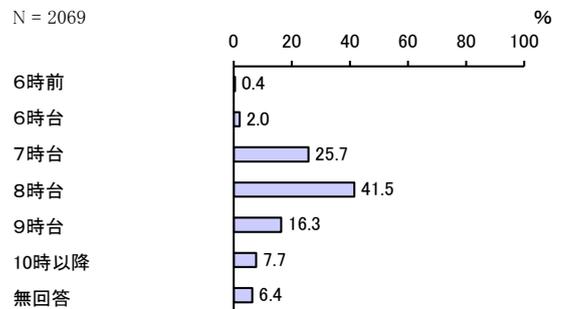
② 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が32.3%と最も高く、次いで「5時間未満」の割合が15.3%、「6時間～7時間未満」の割合が14.6%となっています。



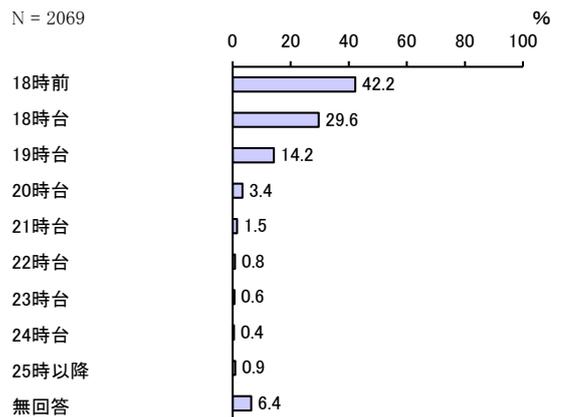
③ 家を出る時刻

「8時台」の割合が41.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が25.7%、「9時台」の割合が16.3%となっています。



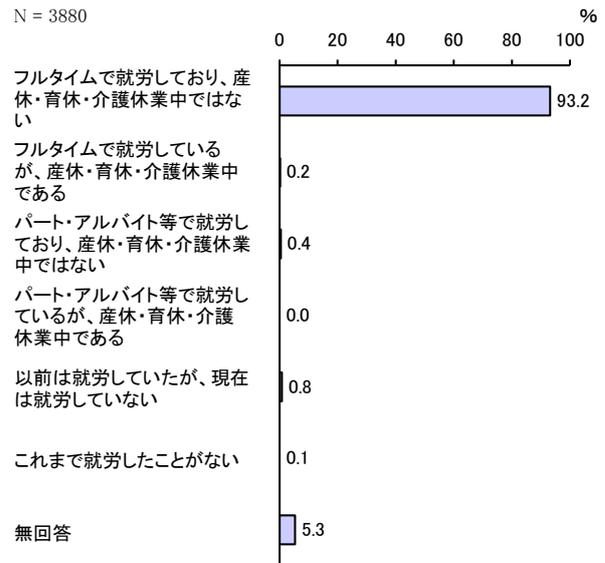
④ 帰宅時刻

「18時前」の割合が42.2%と最も高く、次いで「18時台」の割合が29.6%、「19時台」の割合が14.2%となっています。



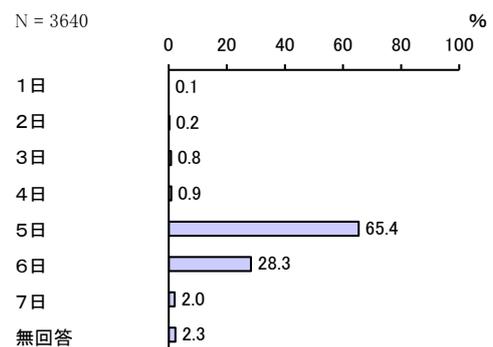
(2) 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が93.2%と最も高くなっています。



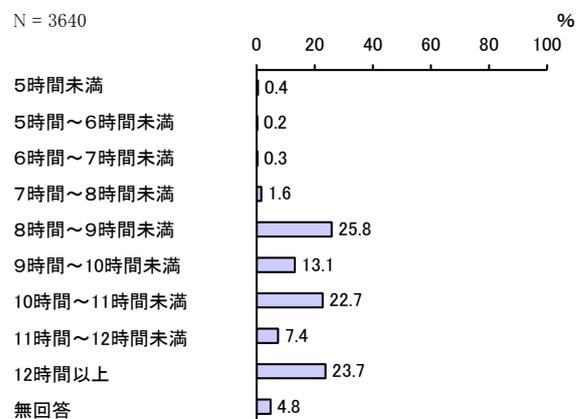
① 1週当たり就労日数

「5日」の割合が65.4%と最も高く、次いで「6日」の割合が28.3%となっています。



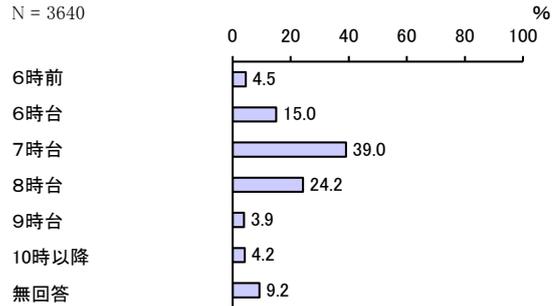
② 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が25.8%と最も高く、次いで「12時間以上」の割合が23.7%、「10時間～11時間未満」の割合が22.7%となっています。



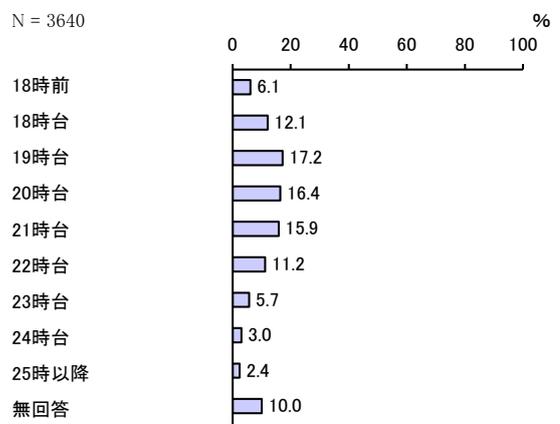
③ 家を出る時刻

「7時台」の割合が39.0%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.2%、「6時台」の割合が15.0%となっています。



④ 帰宅時刻

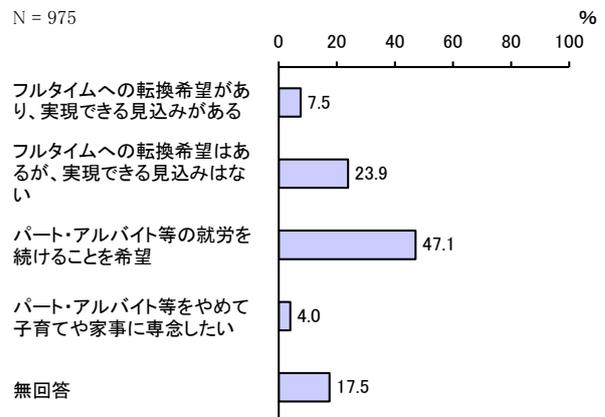
「19時台」の割合が17.2%と最も高く、次いで「20時台」の割合が16.4%、「21時台」の割合が15.9%となっています。



問10 問9の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。(該当しない方は、問11へお進みください。)フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

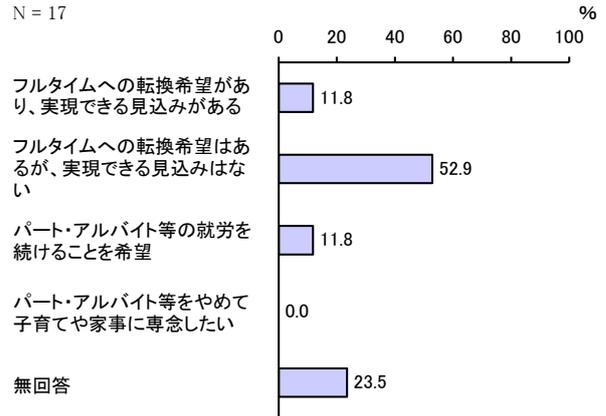
(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が47.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.9%となっています。



(2) 父親

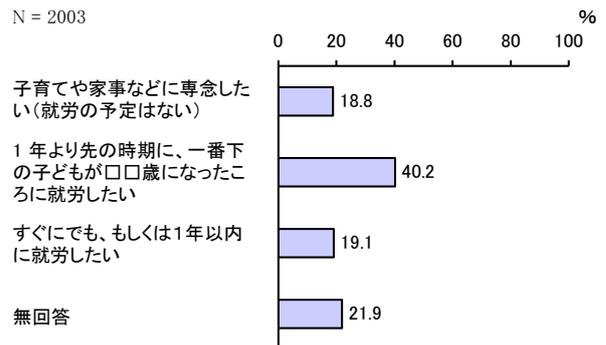
「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が52.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が11.8%となっています。



問11 問9の(1)または(2)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

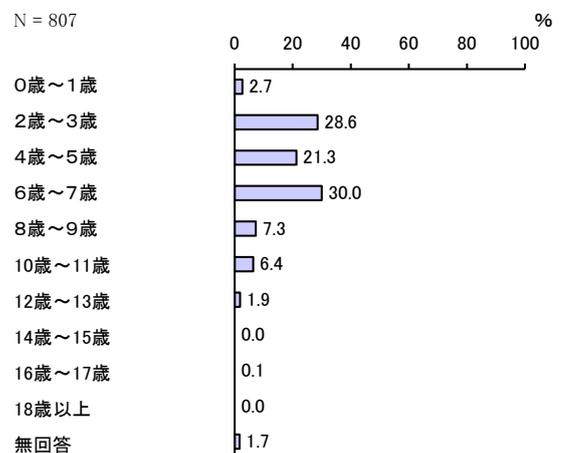
(1) 母親

「1年より先の時期に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の割合が40.2%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が19.1%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が18.8%となっています。



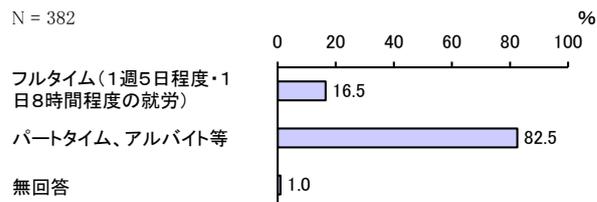
① 「1年より先の時期に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」子どもの年齢

「6歳～7歳」の割合が30.0%と最も高く、次いで「2歳～3歳」の割合が28.6%、「4歳～5歳」の割合が21.3%となっています。



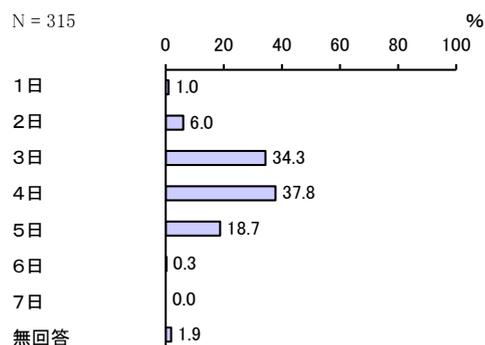
② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の希望する就労形態

「パートタイム、アルバイト等」の割合が 82.5%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が 16.5%となっています。



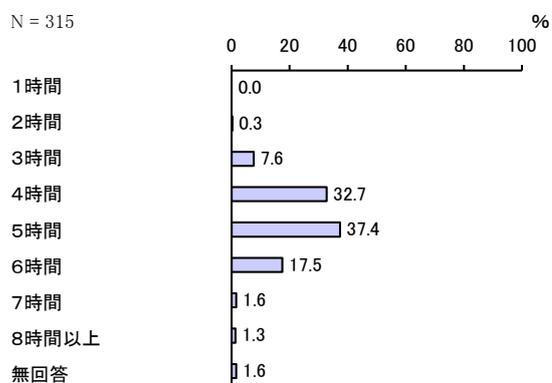
ア 1週当たり日数

「4日」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が 34.3%、「5日」の割合が 18.7%となっています。



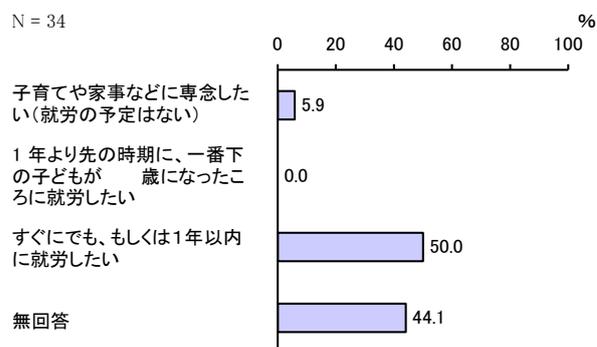
イ 1日当たり時間

「5時間」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「4時間」の割合が 32.7%、「6時間」の割合が 17.5%となっています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 50.0%と最も高くなっています。

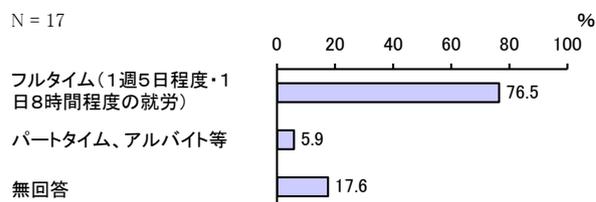


① 「1年より先の時期に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」子どもの年齢

有効回答はありません。

② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が76.5%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が5.9%となっています。



ア 1週当たり日数

有効回答はありません。

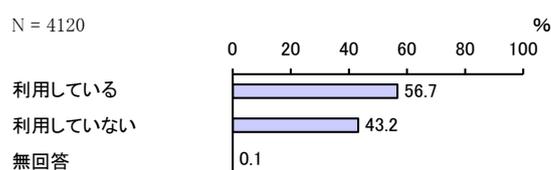
イ 1日当たり時間

有効回答はありません。

4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

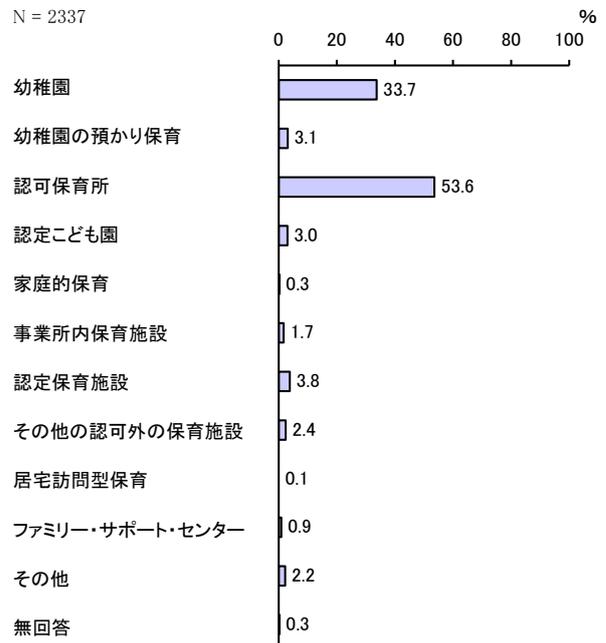
問12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が56.7%、「利用していない」の割合が43.2%となっています。



問 12-1 問 12-1～問 12-4は、問 12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて
 「定期的に」利用している事業として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。”

「認可保育所」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 33.7%となっています。



【年齢別】

定期的に利用している教育・保育事業を年齢別で見ると、他の年齢に比べ、2歳以下で「認可保育所」の割合が、4歳以上で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	140	1.4	—	67.9	1.4	1.4	10.7	11.4	1.4	0.7	3.6	1.4	0.7
1歳	205	0.5	1.0	79.0	0.5	0.5	4.4	6.8	2.9	—	1.5	4.9	—
2歳	259	1.9	1.2	78.0	0.8	0.4	2.7	7.7	3.1	—	0.8	6.2	—
3歳	486	33.7	1.9	54.9	4.1	—	1.2	2.9	2.5	—	0.4	1.9	0.4
4歳	608	50.2	4.9	40.8	4.1	0.3	0.2	2.1	2.1	—	0.7	1.2	0.3
5歳	622	48.6	4.7	43.7	3.4	—	0.3	1.8	2.1	0.2	1.0	1.1	0.5

【教育・保育事業の利用場所別】

定期的に利用している教育・保育事業を利用場所別で見ると、他に比べ、二宮町で「幼稚園」の割合が、中井町で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

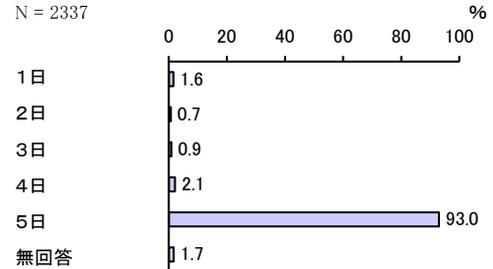
区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
小田原市	2185	33.7	3.1	54.6	2.8	0.2	1.4	3.8	2.1	0.1	1.0	2.2	0.3
南足柄市	44	54.5	6.8	25.0	4.5	2.3	2.3	2.3	9.1	—	—	2.3	—
開成町	3	—	—	33.3	—	—	—	—	66.7	—	—	—	—
大井町	7	—	—	85.7	—	—	—	—	—	—	—	14.3	—
中井町	23	—	—	91.3	—	—	4.3	4.3	—	—	—	—	—
二宮町	24	83.3	12.5	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
箱根町	9	—	—	11.1	77.8	—	—	—	—	—	—	—	11.1
その他	25	12.0	—	32.0	—	—	32.0	12.0	8.0	—	—	4.0	—

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字で記入してください

(1) 現在

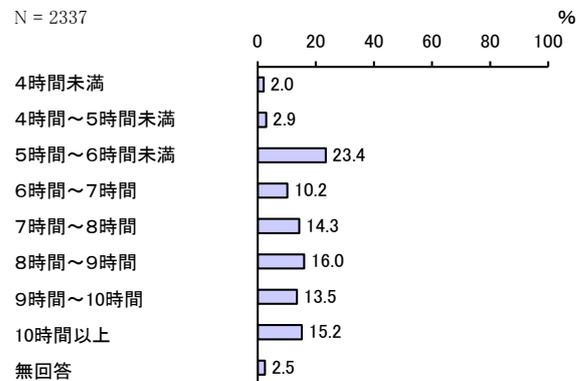
① 1週当たり日数

「5日」の割合が93.0%と最も高くなっています。



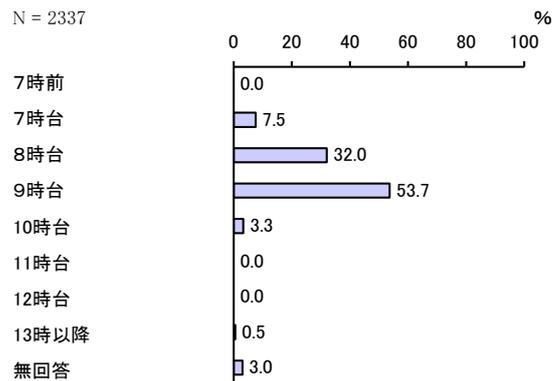
② 1日当たり時間

「5時間～6時間未満」の割合が23.4%と最も高く、次いで「8時間～9時間」の割合が16.0%、「10時間以上」の割合が15.2%となっています。



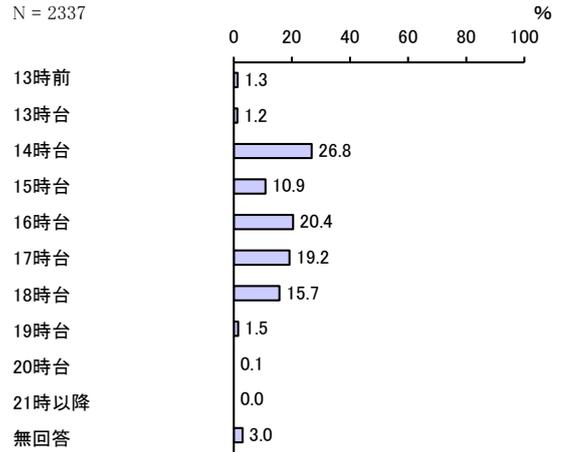
③ 開始時間

「9時台」の割合が53.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が32.0%となっています。



④ 終了時間

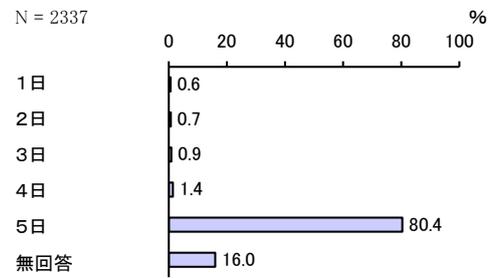
「14時台」の割合が26.8%と最も高く、次いで「16時台」の割合が20.4%、「17時台」の割合が19.2%となっています。



(2) 希望

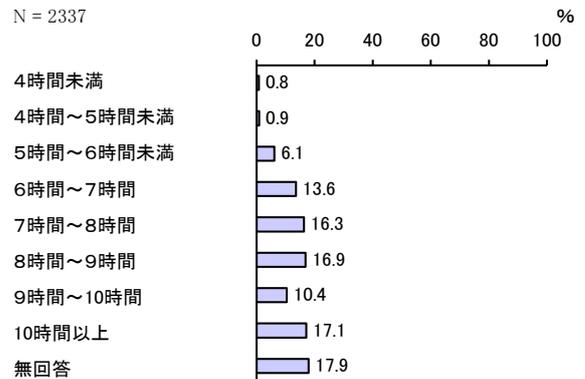
① 1週当たり日数

「5日」の割合が80.4%と最も高くなっています。



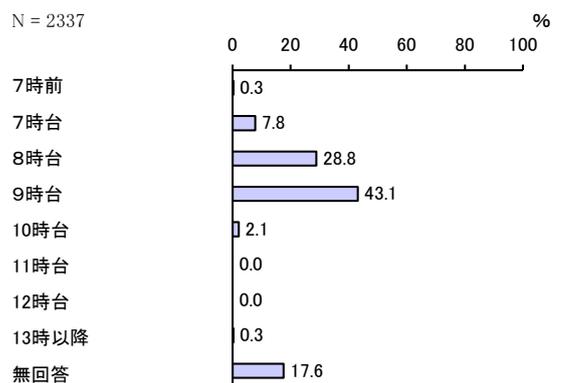
② 1日当たり時間

「10時間以上」の割合が17.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間」の割合が16.9%、「7時間～8時間」の割合が16.3%となっています。



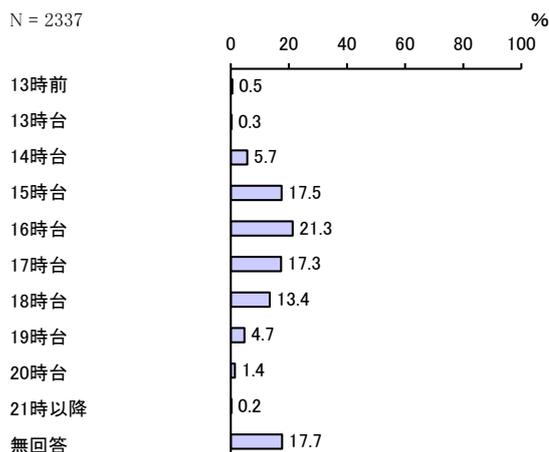
③ 開始時間

「9時台」の割合が43.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が28.8%となっています。



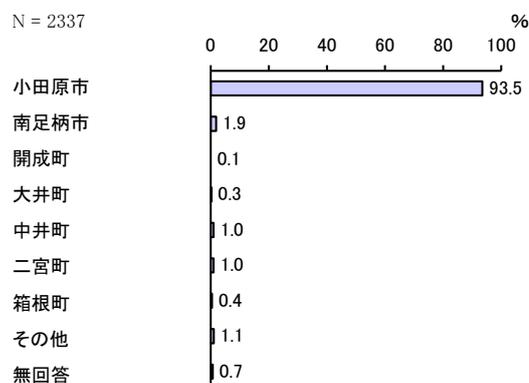
④ 終了時間

「16時台」の割合が21.3%と最も高く、次いで「15時台」の割合が17.5%、「17時台」の割合が17.3%となっています。



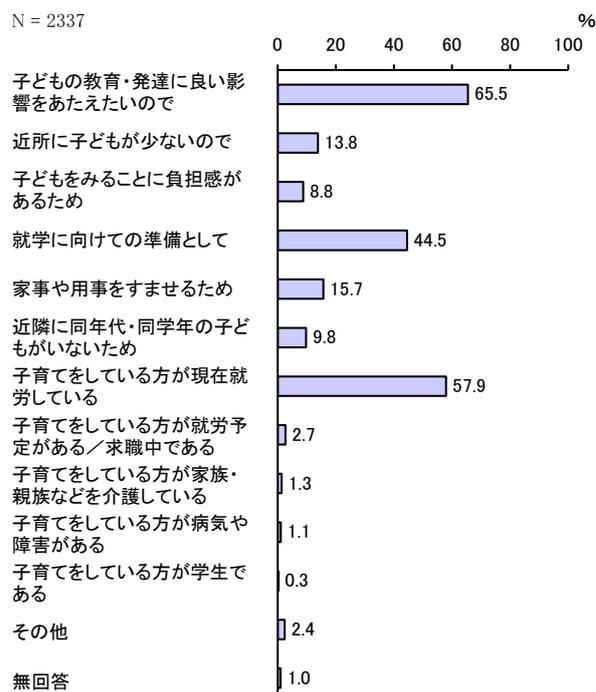
問 12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

「小田原市」の割合が93.5%と最も高くなっています。



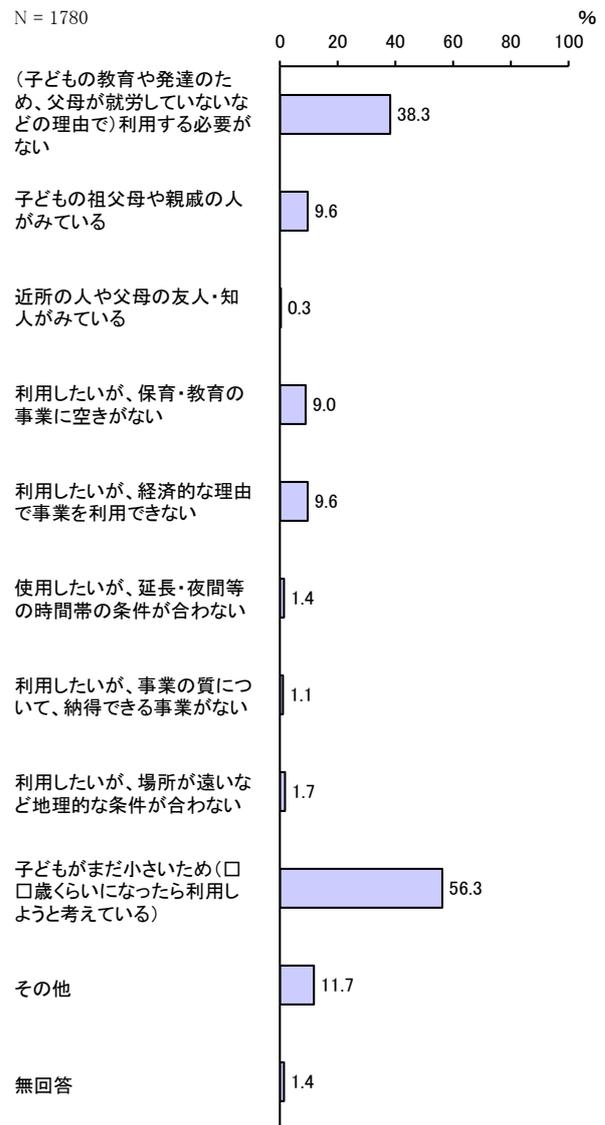
問 12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの教育・発達に良い影響をあたえたいので」の割合が65.5%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」の割合が57.9%、「就学に向けての準備として」の割合が44.5%となっています。



問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 38.3%となっています。



【年齢別】

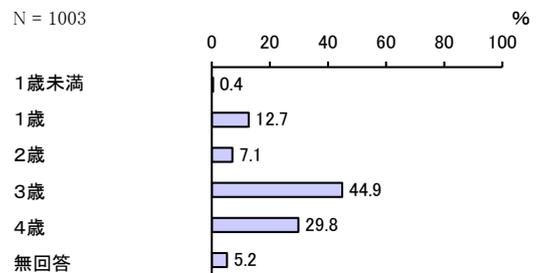
利用していない理由を年齢別で見ると、他の年齢に比べ、2歳以下で「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	（子どもの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で）利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質について、納得できる事業がない	利用したいが、場所が遠いなど地理的な条件が合わない	子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）	その他	無回答
0歳	883	37.6	9.5	0.3	8.4	7.8	1.8	0.9	1.2	63.6	9.5	0.6
1歳	425	37.6	10.8	0.5	10.1	8.7	0.7	0.7	2.1	58.8	7.3	1.6
2歳	303	40.9	8.6	0.3	7.9	12.2	0.7	1.7	2.3	48.5	15.5	3.0
3歳	138	42.8	6.5	—	5.1	16.7	1.4	2.2	1.4	26.8	29.0	1.4
4歳	5	—	20.0	—	80.0	20.0	—	—	—	—	20.0	—
5歳	5	—	—	—	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	—	40.0	20.0

(1) 「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」子どもの年齢

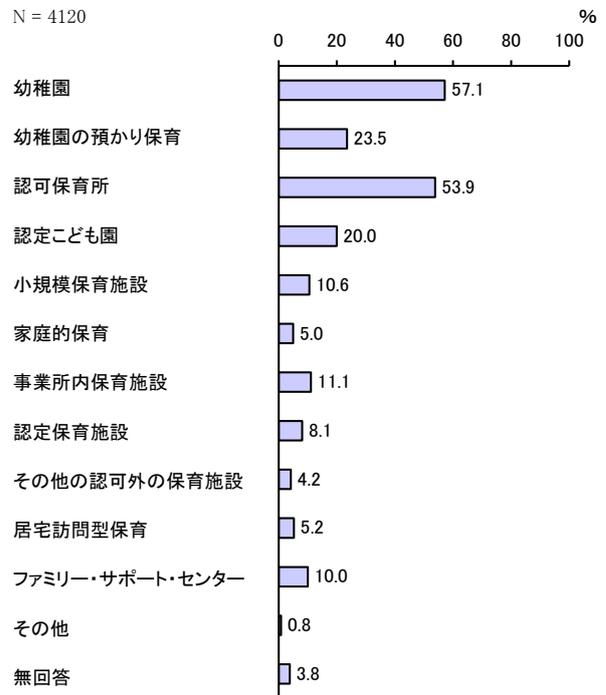
「3歳」の割合が44.9%と最も高く、次いで「4歳」の割合が29.8%、「1歳」の割合が12.7%となっています。



問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、お子さんが何歳から利用したいかを□内に記入してください。

(1) 利用したい事業

「幼稚園」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 53.9%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 23.5%となっています。



【年齢別】

利用したい教育・保育事業を年齢別でみると、他の年齢に比べ、年齢が上がるにつれ「認可保育所」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設	施設 その他の認可外の保育	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	1023	56.3	19.4	60.7	18.8	13.3	4.1	11.9	8.4	2.6	4.0	10.2	0.4	2.0
1歳	630	60.0	20.5	58.1	22.9	10.5	4.1	9.4	8.3	5.1	4.6	8.7	0.3	2.7
2歳	565	56.8	21.2	53.1	20.4	10.3	4.8	10.4	9.4	5.5	5.8	8.5	1.4	3.0
3歳	624	56.6	28.4	50.2	18.8	9.9	5.4	10.9	7.1	4.3	5.4	11.1	1.0	4.2
4歳	613	57.4	29.2	48.3	20.9	7.5	5.2	11.7	7.2	3.4	5.4	10.6	0.5	5.5
5歳	627	55.8	25.2	49.0	19.5	10.4	7.0	11.3	8.3	5.3	6.9	10.4	1.9	6.9

【母親の就労状況別】

利用したい教育・保育事業を母親の就労状況別でみると、「フルタイム」、「パート・アルバイト等」で「認可保育所」の割合が、「就労していない」で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設	施設 その他の認可外の保育	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイム	1094	24.4	14.6	82.6	22.9	13.8	6.0	18.4	10.2	5.2	7.4	14.6	0.8	3.9
パート・アルバイト等	975	44.2	22.5	66.4	20.2	9.7	5.9	10.1	8.6	3.5	5.2	8.7	1.3	5.2
就労していない	2003	81.4	28.9	32.4	18.5	9.3	4.0	7.7	6.5	3.9	4.0	7.9	0.6	2.8

【母親の就労希望別】

利用したい教育・保育事業を母親の就労希望別で見ると、全体に「幼稚園」の割合が高くなっていますが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」で「認可保育所」の割合も高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	376	86.4	19.9	15.7	10.9	5.3	1.1
1年より先の時期に、一番下の 子どもが□□歳になったころに 就労したい	807	86.4	34.2	30.9	20.2	8.6	4.3
すぐにでも、もしくは1年以内に 就労したい	382	63.6	30.1	55.2	24.1	13.1	4.2

区分	事業所内保育施設	認定保育施設	施設 その他の認可外の保育	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	3.2	2.9	2.9	2.9	5.1	0.5	5.1
1年より先の時期に、一番下の 子どもが□□歳になったころに 就労したい	8.6	6.7	4.0	4.3	8.9	0.5	1.7
すぐにでも、もしくは1年以内に 就労したい	8.4	9.4	3.1	2.6	9.9	0.3	3.4

【教育・保育事業の利用有無別】

利用したい教育・保育事業を保育事業の利用有無別でみると、「利用していない」で「幼稚園」の割合が高く、「利用している」で「認可保育所」の割合が高くなっています。

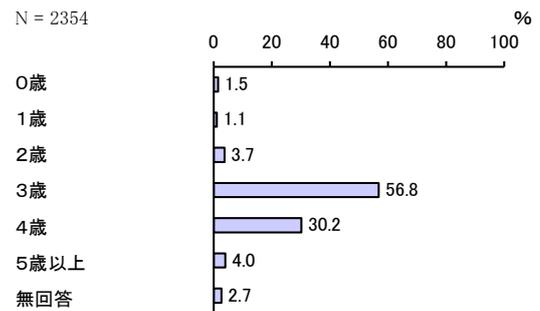
単位：％

区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認定保育施設	施設 その他の認可外の保育	居宅訪問型保育	ファミリ－・サポ－ト・センター	その他	無回答
利用している	2337	47.5	23.9	58.5	20.6	10.4	5.9	12.9	8.6	4.7	6.5	11.5	1.2	5.3
利用していない	1780	69.8	23.0	47.9	19.2	10.9	3.9	8.8	7.4	3.4	3.5	8.0	0.4	1.7

(2) 利用したい事業別子どもの年齢

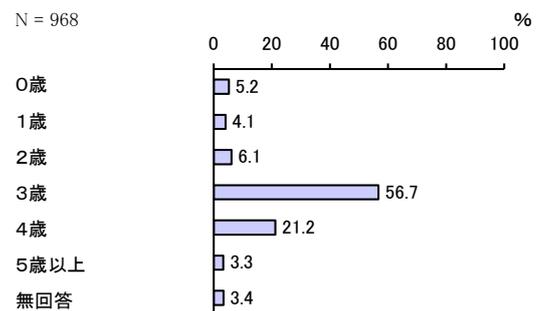
① 幼稚園

「3歳」の割合が56.8%と最も高く、次いで「4歳」の割合が30.2%となっています。



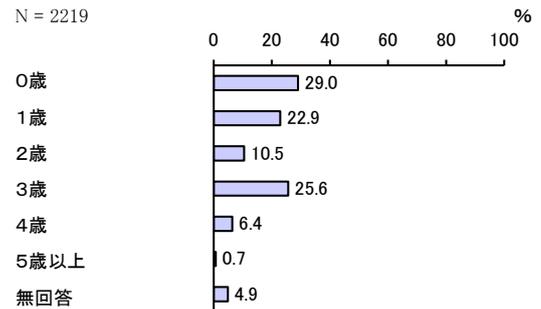
② 幼稚園の預かり保育

「3歳」の割合が56.7%と最も高く、次いで「4歳」の割合が21.2%となっています。



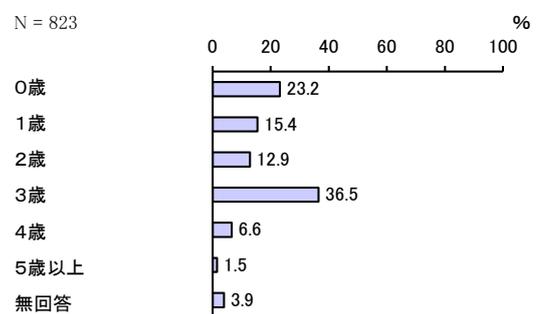
③ 認可保育所

「0歳」の割合が29.0%と最も高く、次いで「3歳」の割合が25.6%、「1歳」の割合が22.9%となっています。



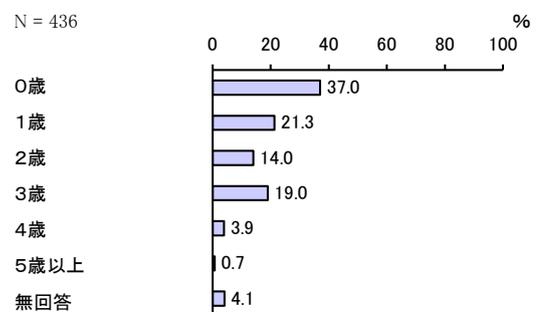
④ 認定こども園

「3歳」の割合が36.5%と最も高く、次いで「0歳」の割合が23.2%、「1歳」の割合が15.4%となっています。



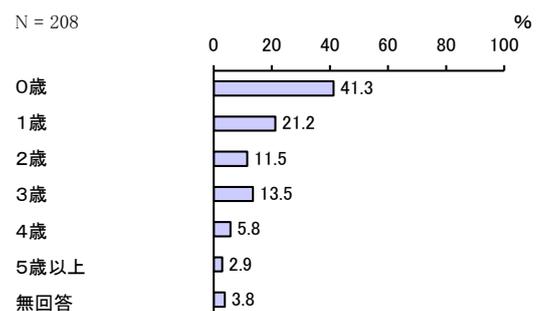
⑤ 小規模保育施設

「0歳」の割合が37.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が21.3%、「3歳」の割合が19.0%となっています。



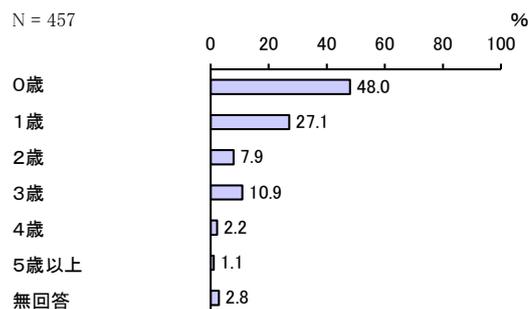
⑥ 家庭的保育

「0歳」の割合が41.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が21.2%、「3歳」の割合が13.5%となっています。



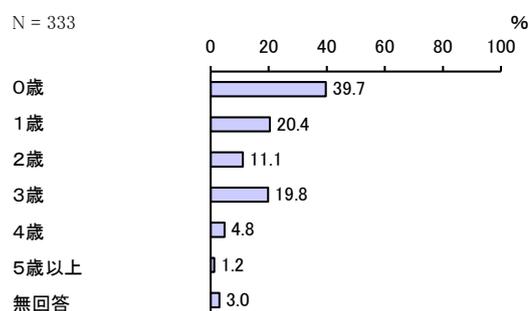
⑦ 事業所内保育施設

「0歳」の割合が48.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が27.1%、「3歳」の割合が10.9%となっています。



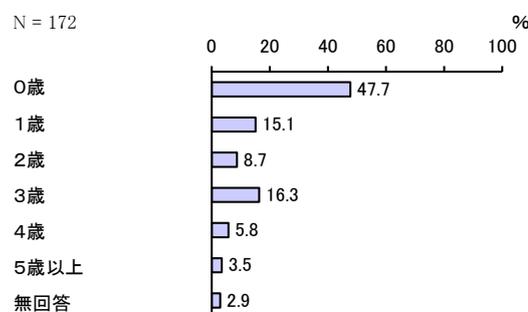
⑧ 認定保育施設

「0歳」の割合が39.7%と最も高く、次いで「1歳」の割合が20.4%、「3歳」の割合が19.8%となっています。



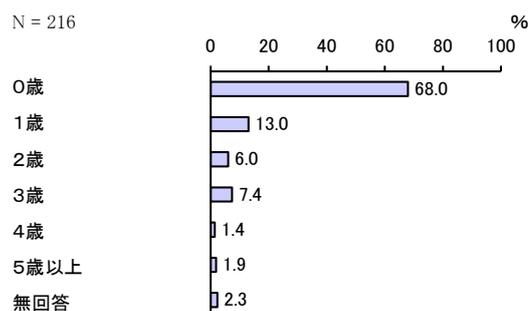
⑨ その他の認可外の保育施設

「0歳」の割合が47.7%と最も高く、次いで「3歳」の割合が16.3%、「1歳」の割合が15.1%となっています。



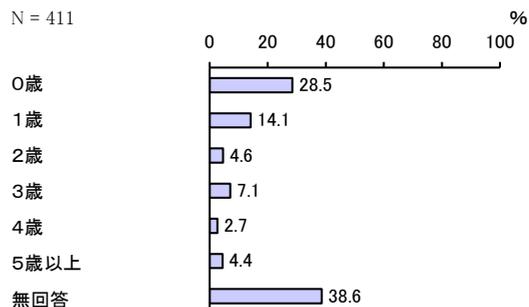
⑩ 居宅訪問型保育

「0歳」の割合が68.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が13.0%となっています。



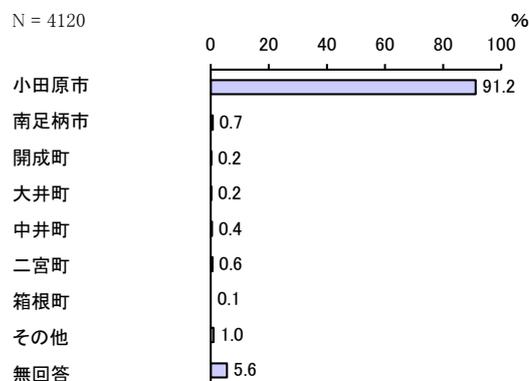
⑪ ファミリー・サポート・センター

「0歳」の割合が28.5%と最も高く、次いで「1歳」の割合が14.1%となっています。



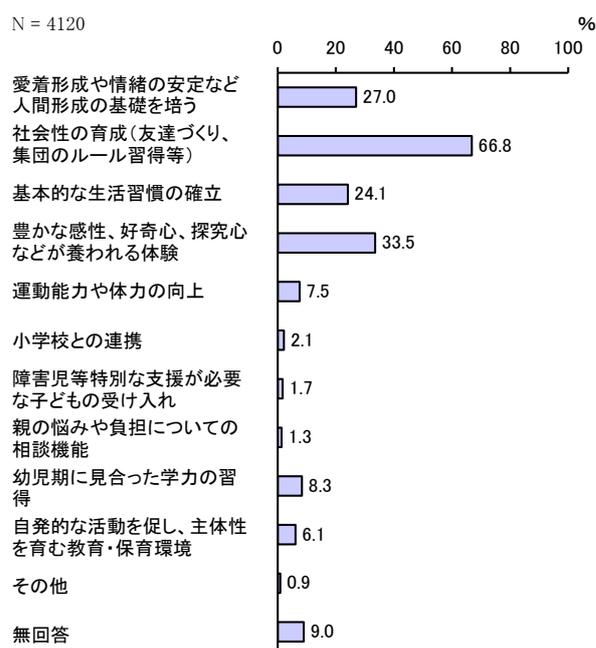
問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

「小田原市」の割合が91.2%と最も高くなっています。



問 13-2 教育・保育事業の事業内容について、特に何を望みますか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

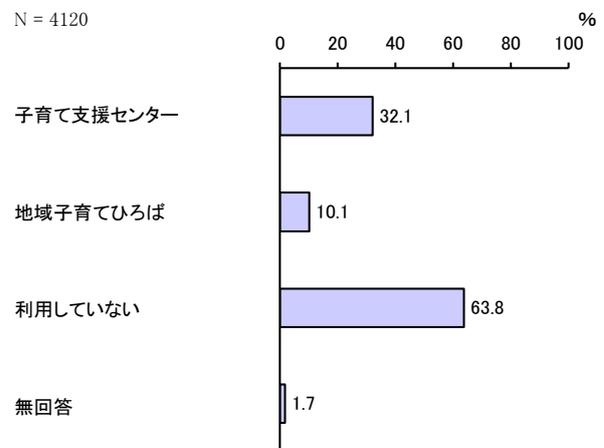
「社会性の育成（友達づくり、集団のルール習得等）」の割合が66.8%と最も高く、次いで「豊かな感性、好奇心、探究心などが養われる体験」の割合が33.5%、「愛着形成や情緒の安定など人間形成の基礎を培う」の割合が27.0%となっています。



5 お子さんの地域の子育て支援の利用状況について

問 14 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターや地域子育てひろばを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に記入してください。

「利用していない」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「子育て支援センター」の割合が 32.1%、「地域子育てひろば」の割合が 10.1%となっています。



【年齢別】

子育て支援の利用状況を年齢別で見ると、他の年齢に比べ、2歳以下で「子育て支援センター」の割合が高く、3歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

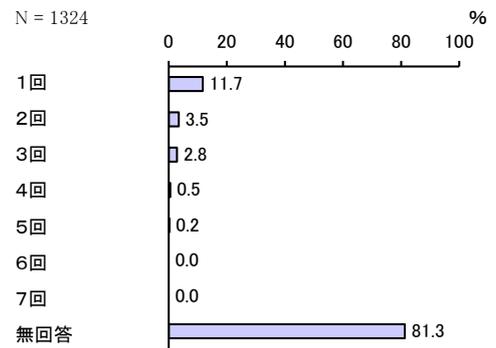
区分	有効回答数（件）	子育て支援センター	地域子育てひろば	利用していない	無回答
0歳	1023	41.4	11.7	55.2	1.1
1歳	630	46.2	18.1	48.6	1.4
2歳	565	38.2	16.3	56.1	1.8
3歳	624	22.8	8.0	72.6	1.4
4歳	613	19.2	3.1	76.8	3.3
5歳	627	19.3	2.7	78.0	2.1

(1) 利用している事業別回数

① 子育て支援センター

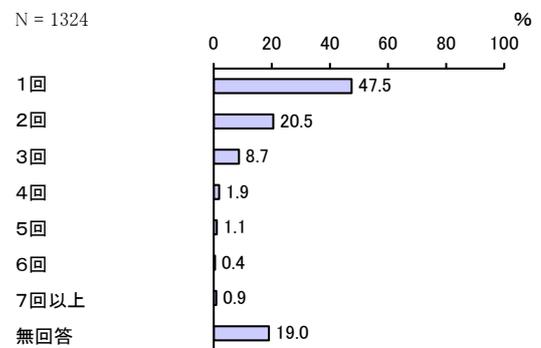
ア 1週当たり回数

「1回」の割合が11.7%と最も高くなっています。



イ 1か月当たり回数

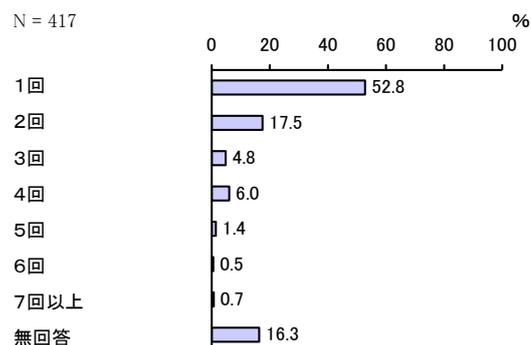
「1回」の割合が47.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が20.5%となっています。



② 地域子育てひろば

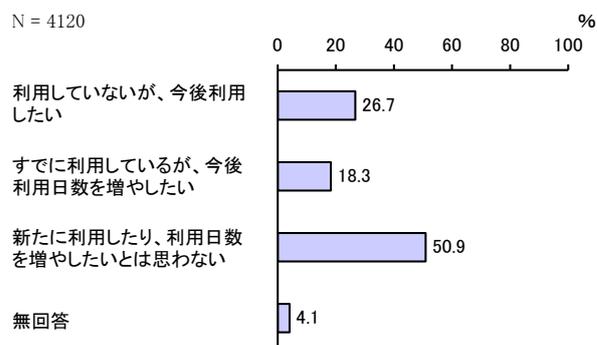
ア 1か月当たり回数

「1回」の割合が52.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が17.5%となっています。



問 15 子育て支援センターや地域子育てひろばの今後の利用希望について、当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用希望回数（頻度）を口内に記入してください。（開所日や、交通手段の理由から現在利用していない方も、利用可能な状況になった際にはどの程度利用したいか希望をお書きください。）

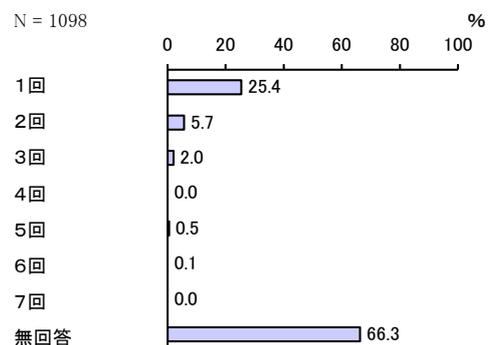
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が50.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が26.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が18.3%となっています。



(1) 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望回数

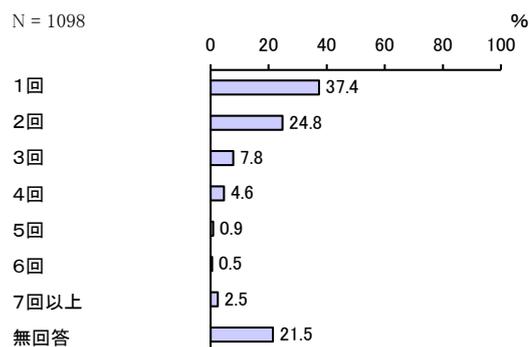
① 1週当たり回数

「1回」の割合が25.4%と最も高くなっています。



② 1か月当たり回数

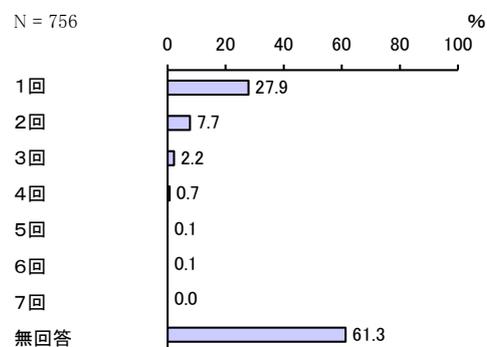
「1回」の割合が37.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が24.8%となっています。



(2) 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望回数

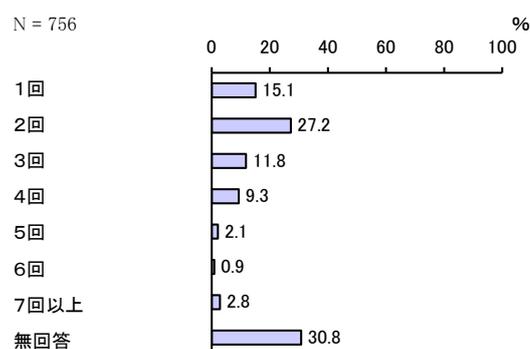
① 1週当たり更に増やす回数

「1回」の割合が27.9%と最も高くなっています。



② 1か月当たり更に増やす回数

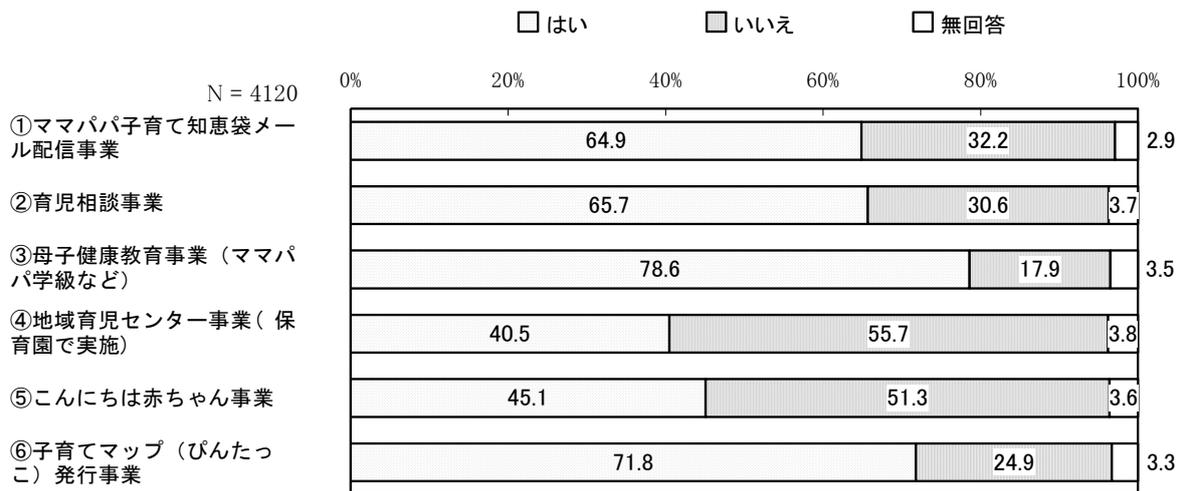
「2回」の割合が27.2%と最も高く、次いで「1回」の割合が15.1%、「3回」の割合が11.8%となっています。



問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

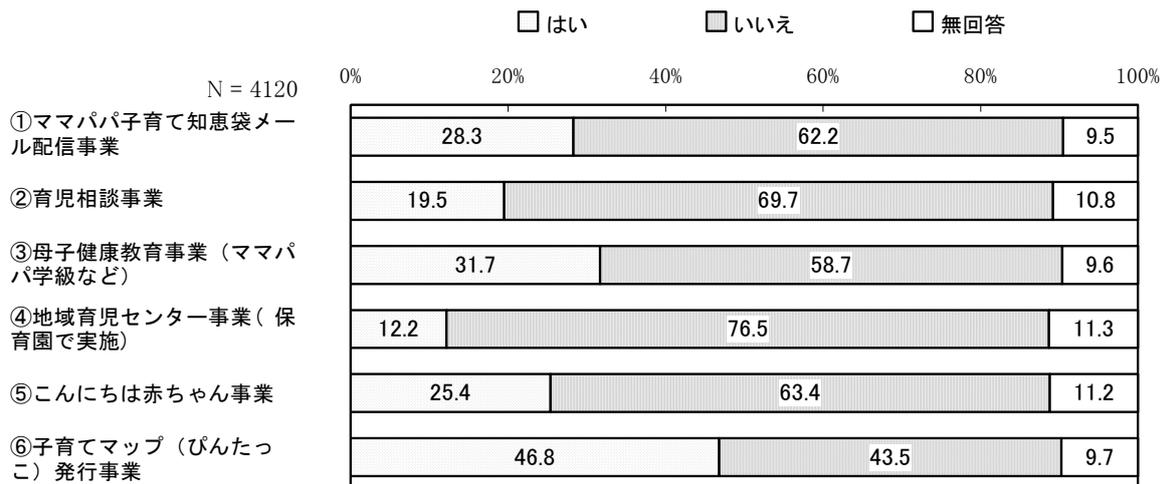
(1) 認知度

③母子健康教育事業（ママパパ学級など）、⑥子育てマップ（ぴんたっこ）発行事業で「はい（認知している）」の割合が高くなっています。



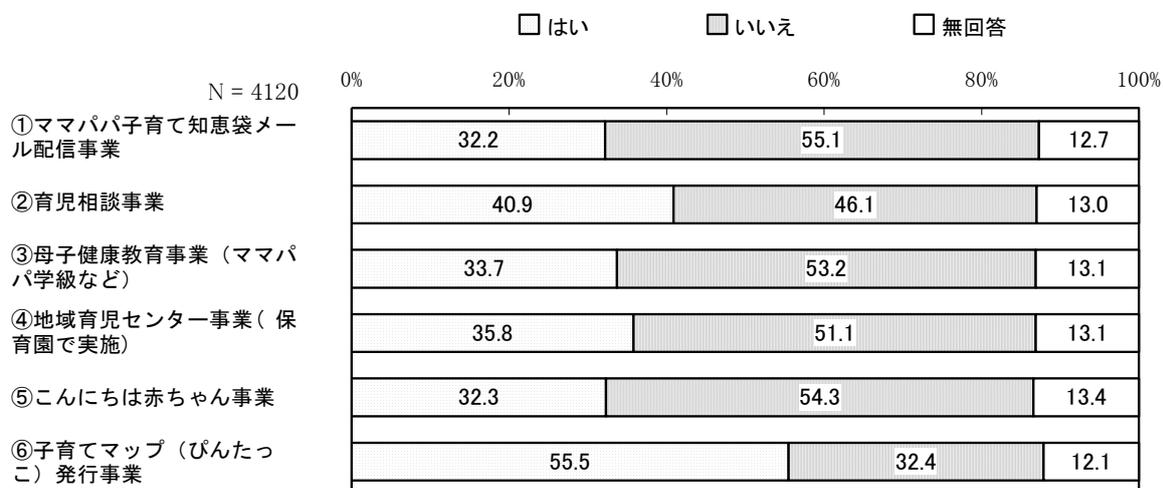
(2) これまでに利用したことがある

⑥子育てマップ（ぴんたっこ）発行事業で「はい（これまでに利用したことがある）」の割合が高くなっています。



(3) 今後利用したい (満足している)

⑥子育てマップ (ぴんたっこ) 発行事業で「はい (今後利用したい)」の割合が高くなっています。

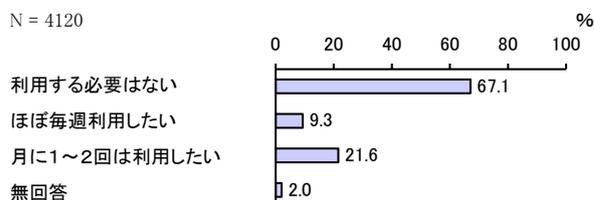


6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問17 あて名のお子さんについて、土曜日あるいは日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に記入してください。

(1) 土曜日

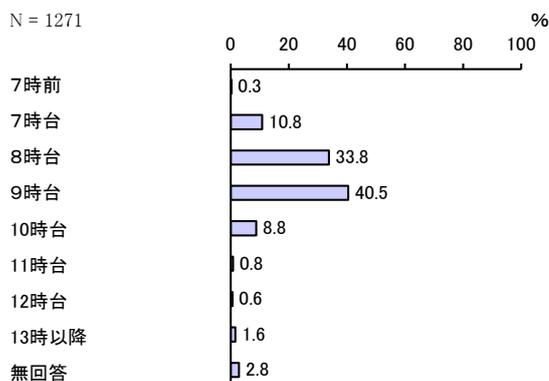
「利用する必要はない」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 21.6%となっています。



① 利用したい時間帯

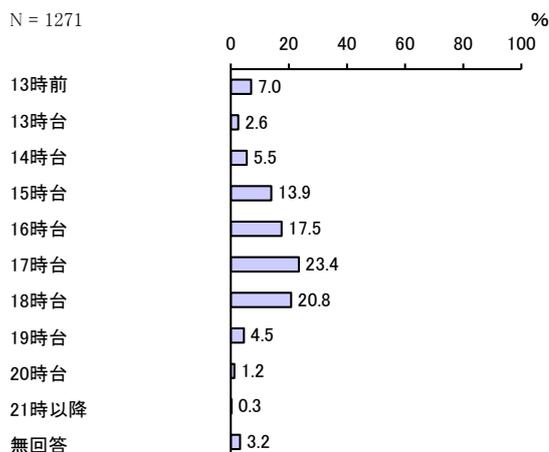
ア 開始時刻

「9時台」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 33.8%、「7時台」の割合が 10.8%となっています。



イ 終了時刻

「17時台」の割合が 23.4%と最も高く、次いで「18時台」の割合が 20.8%、「16時台」の割合が 17.5%となっています。

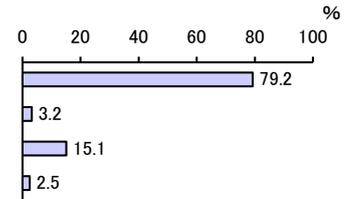


(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が79.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が15.1%となっています。

N = 4120

利用する必要はない
ほぼ毎週利用したい
月に1～2回は利用したい
無回答



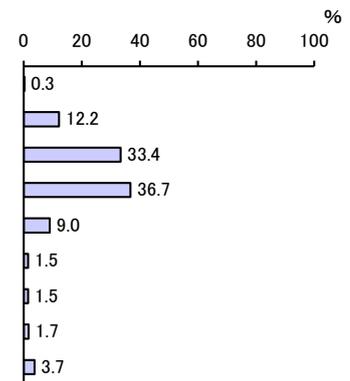
① 利用したい時間帯

ア 開始時刻

「9時台」の割合が36.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が33.4%、「7時台」の割合が12.2%となっています。

N = 752

7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答

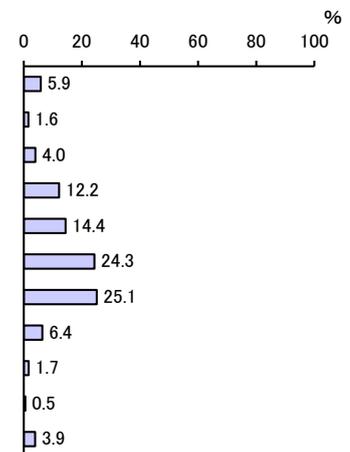


イ 終了時刻

「18時台」の割合が25.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が24.3%、「16時台」の割合が14.4%となっています。

N = 752

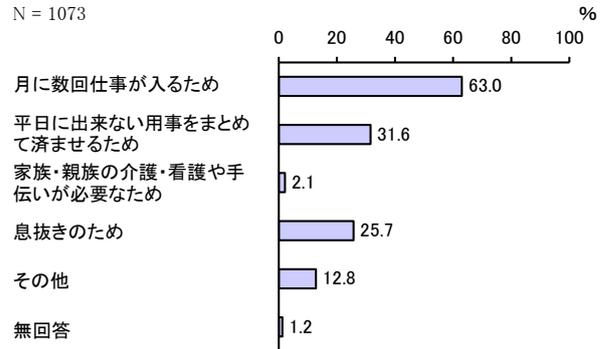
13時前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時台
21時以降
無回答



問17-1 問17の(1)もしくは(2)で、「3.」(月に1~2回利用したい)に○をつけた方
うかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべて
に○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が
63.0%と最も高く、次いで「平日に出来な
い用事をまとめて済ませるため」の割合が
31.6%、「息抜きのため」の割合が 25.7%
となっています。

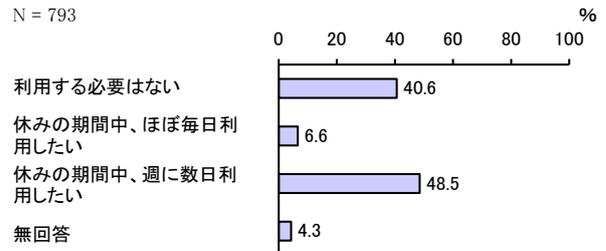
N = 1073



問18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬
休みなど長期の休暇期間中に、お子さんをお預かりする事業の利用を希望しますか。希望が
ある場合は、利用したい時間帯を、□□内に記入してください。

「休みの期間中、週に数日利用したい」
の割合が 48.5%と最も高く、次いで「利用
する必要はない」の割合が 40.6%となっ
ています。

N = 793

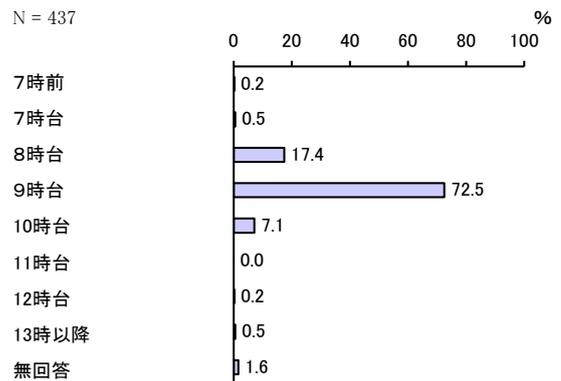


(1) 利用したい時間帯

① 開始時刻

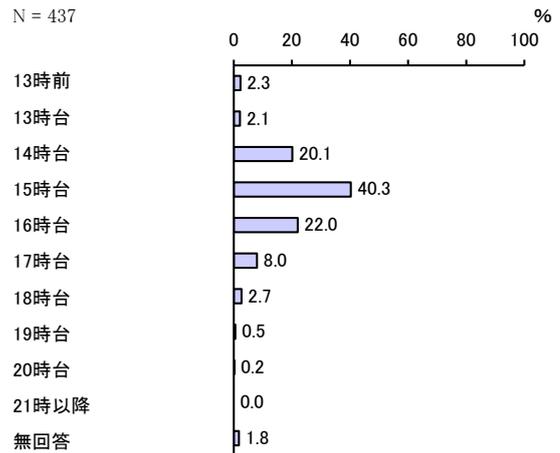
「9時台」の割合が 72.5%と最も高く、
次いで「8時台」の割合が 17.4%となっ
ています。

N = 437



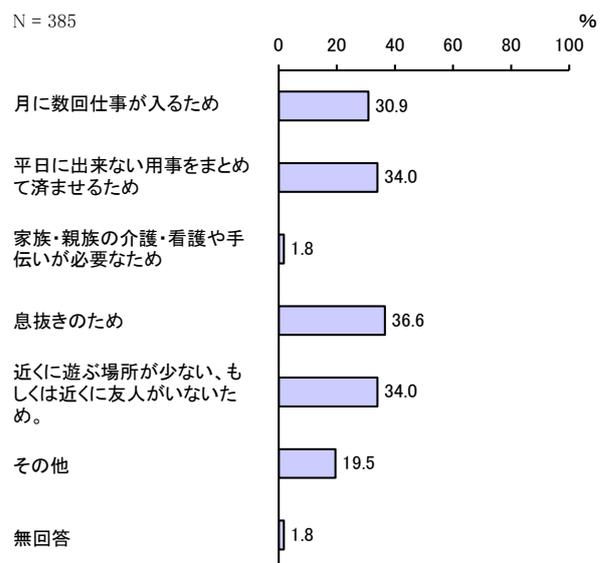
② 終了時刻

「15時台」の割合が40.3%と最も高く、次いで「16時台」の割合が22.0%、「14時台」の割合が20.1%となっています。



問 18-1 問 18 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

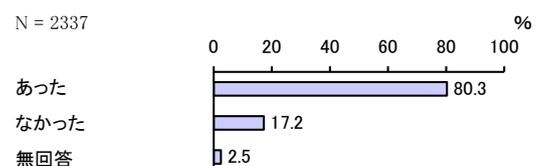
「息抜きのため」の割合が36.6%と最も高く、次いで「平日に出来ない用事をまとめて済ませるため」、「近くに遊ぶ場所が少ない、もしくは近くに友人がいないため。」の割合が34.0%となっています。



7 お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用している方のみ）

問 19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガを理由として通常の教育・保育の事業が利用できなかった（幼稚園・保育園を休んだ）ことはありますか。

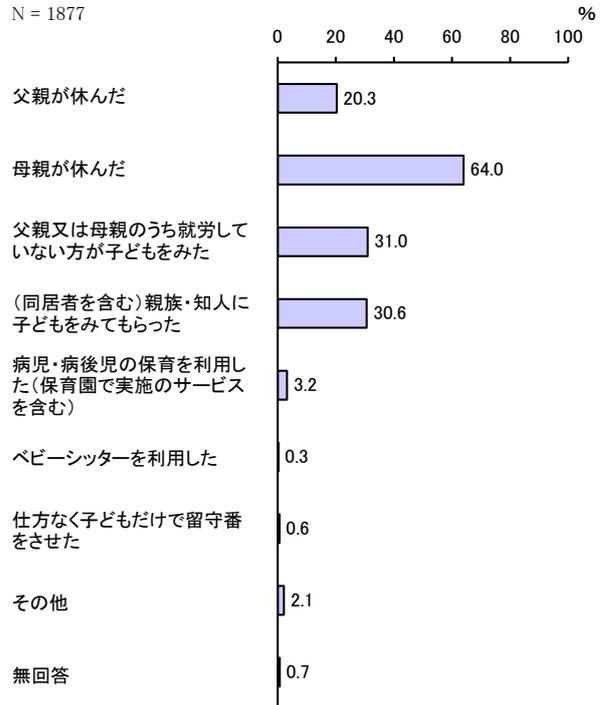
「あった」の割合が80.3%、「なかった」の割合が17.2%となっています。



問 19-1 その際に、この1年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を口内に数字で記入してください。(半日程度の対応の場合も1日として記入してください。)

(1) 1年間の対処方法

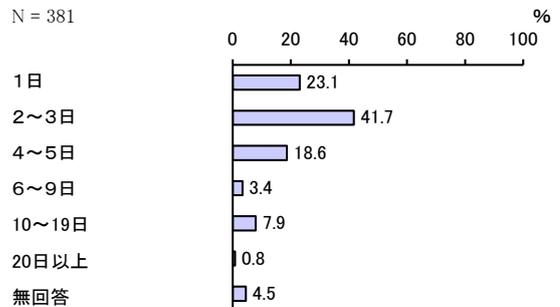
「母親が休んだ」の割合が64.0%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が31.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が30.6%となっています。



(2) 1年間の対処方法日数

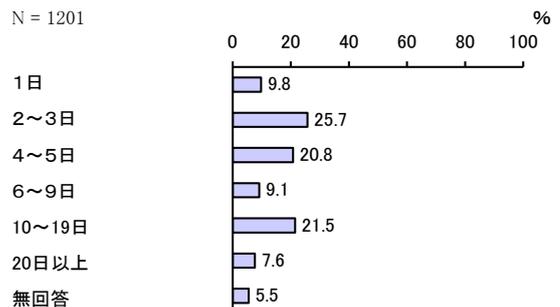
① 父親が休んだ日数

「2～3日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.1%、「4～5日」の割合が18.6%となっています。



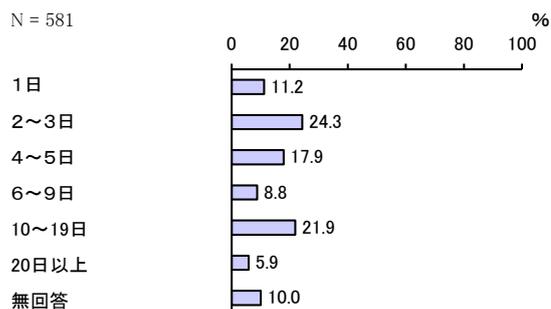
② 母親が休んだ

「2～3日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.5%、「4～5日」の割合が20.8%となっています。



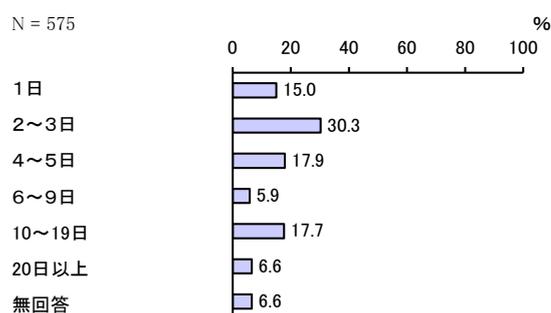
③ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

「2～3日」の割合が24.3%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.9%、「4～5日」の割合が17.9%となっています。



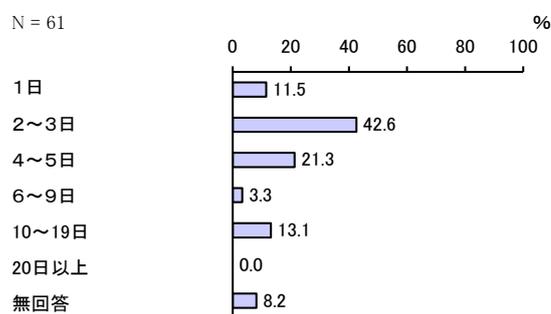
④ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「2～3日」の割合が30.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.9%、「10～19日」の割合が17.7%となっています。



⑤ 病児・病後児の保育を利用した(保育園で実施のサービスを含む)

「2～3日」の割合が42.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.3%、「10～19日」の割合が13.1%となっています。

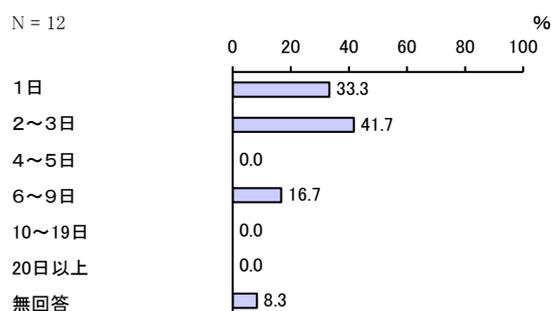


⑥ ベビーシッターを利用した

「1日」、「4～5日」、「6～9日」、「10～19日」が1件となっています。

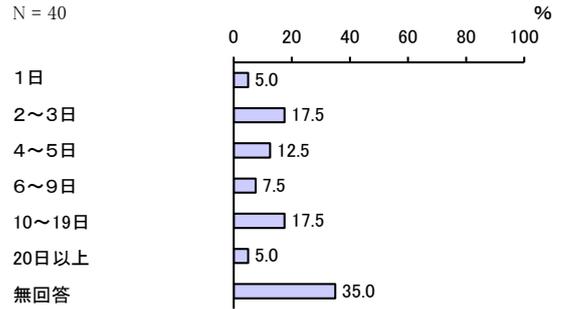
⑦ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「2～3日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.3%、「6～9日」の割合が16.7%となっています。



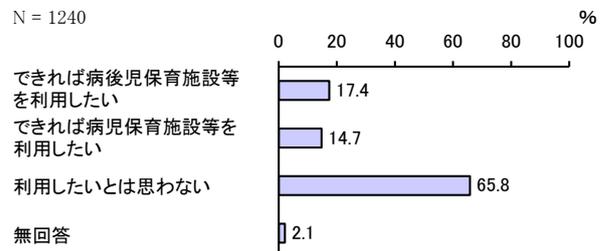
⑧ その他

「2～3日」、「10～19日」の割合が17.5%と最も高く、次いで、「4～5日」の割合が12.5%となっています。



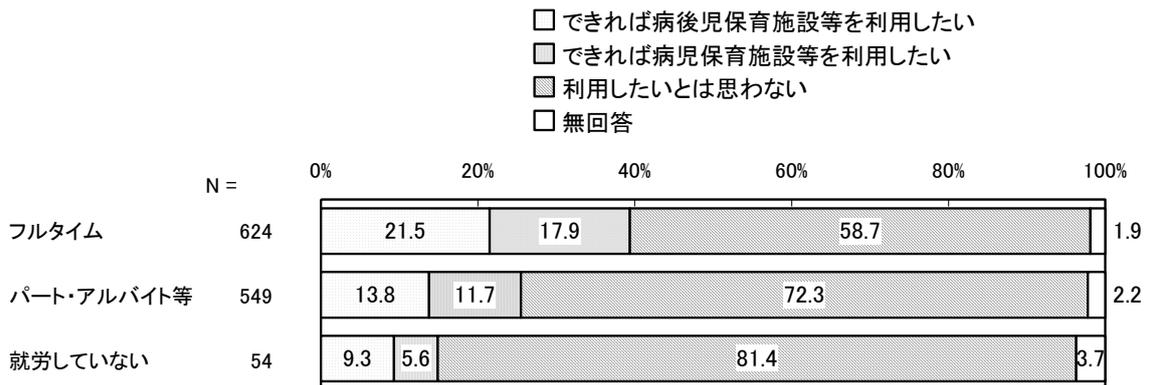
問19-2 問19-1で「1.」「2.」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に記入してください。(病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。)

「利用したいとは思わない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「できれば病後児保育施設等を利用したい」の割合が17.4%、「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が14.7%、「利用したいとは思わない」の割合が14.7%となっています。



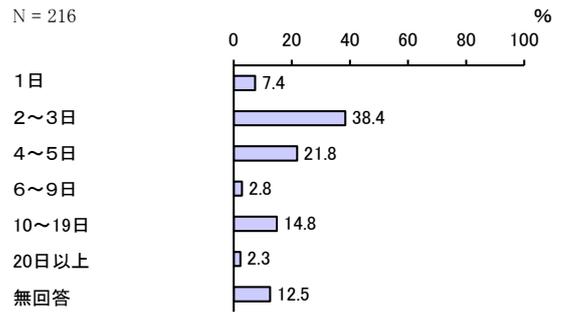
【母親の就労状況別】

病児・病後児のための保育施設等の利用希望について母親の就労状況別でみると、他に比べ、「就労していない」層で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。



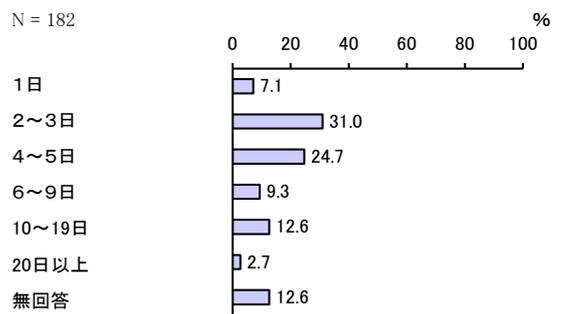
(1) できれば病後児保育施設等を利用したい日数

「2～3日」の割合が38.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.8%、「10～19日」の割合が14.8%となっています。



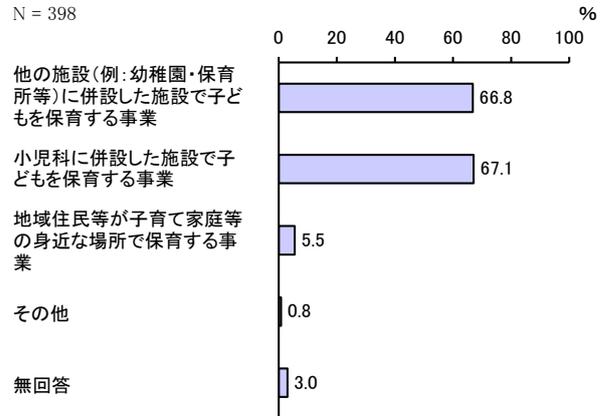
(2) できれば病児保育施設等を利用したい日数

「2～3日」の割合が31.0%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が24.7%、「10～19日」の割合が12.6%となっています。



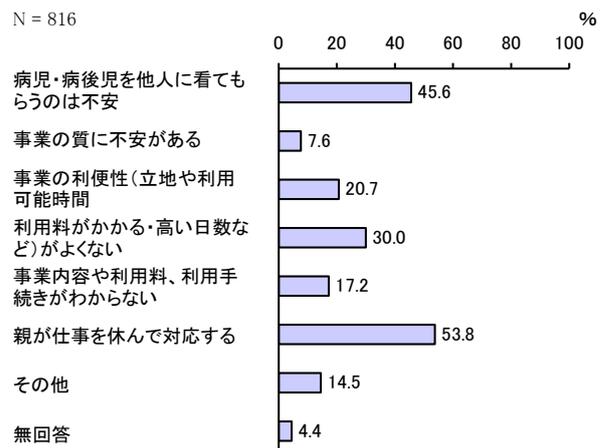
問 19-3 問 19-2 で「1.」あるいは「2.」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 66.8%となっています。



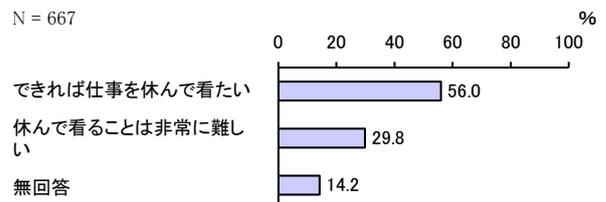
問 19-4 問 19-2 で「3.」に○をつけた方にうかがいます。「利用したいとは思わない」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 45.6%、「利用料がかかる・高い日数など」がよくない」の割合が 30.0%となっています。



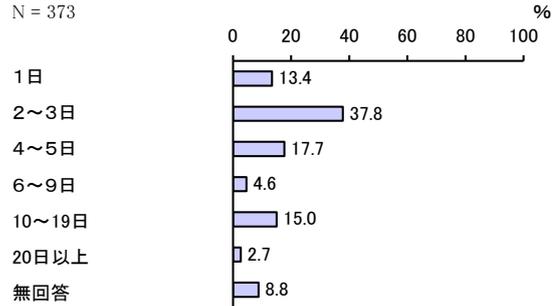
問 19-5 問 19-1 で「4.」～「8.」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、問 19-1 で記入した日数のうち、仕事を休んで見たかった日数についても記入してください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 56.0%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 29.8%となっています。



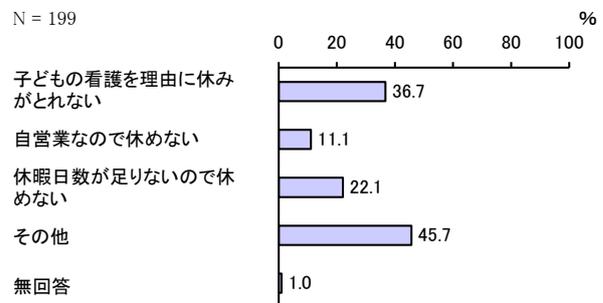
(1) できれば仕事を休んで看たい日数

「2～3日」の割合が37.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.7%、「10～19日」の割合が15.0%となっています。



問 19-6 問 19-5 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。「休んで看することは非常に難しい」と思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

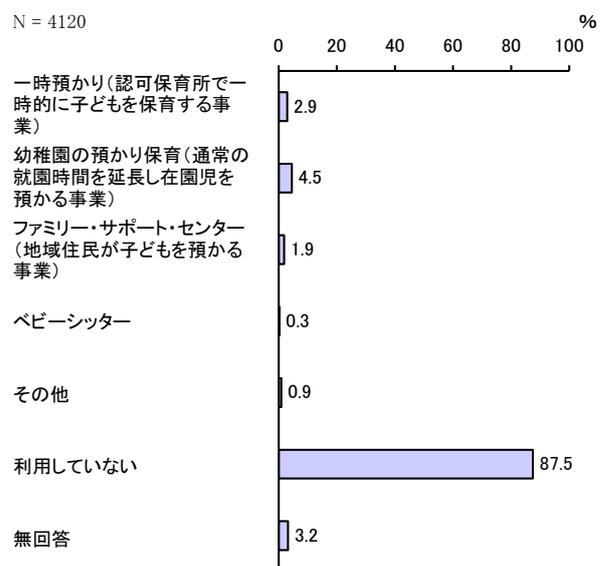
「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が36.7%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が22.1%、「自営業なので休めない」の割合が11.1%となっています。



8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を口内に記入してください。

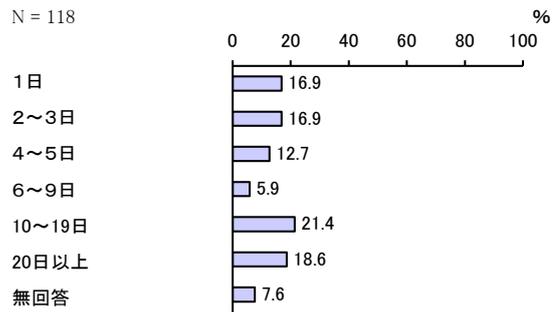
「利用していない」の割合が87.5%と最も高くなっています。



(1) 利用している事業別年間日数

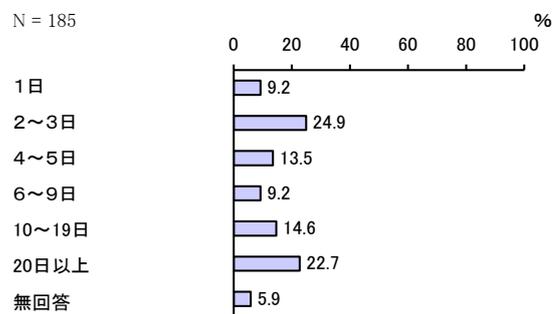
① 一時預かり

「10～19日」の割合が21.4%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が18.6%、「1日」、「2～3日」の割合が16.9%となっています。



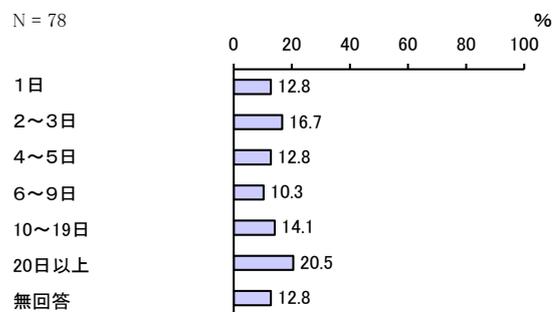
② 幼稚園の預かり保育

「2～3日」の割合が24.9%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が22.7%、「10～19日」の割合が14.6%となっています。



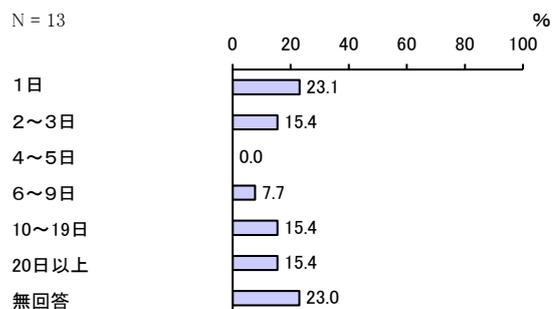
③ ファミリー・サポート・センター

「20日以上」の割合が20.5%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が16.7%、「10～19日」の割合が14.1%となっています。



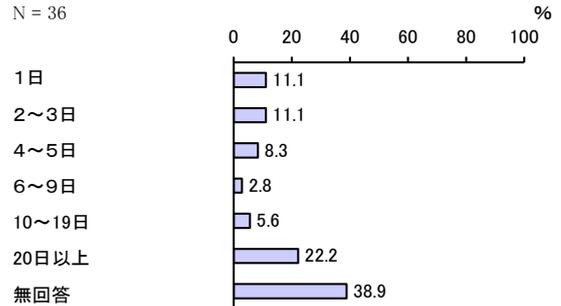
④ ベビーシッター

「1日」の割合が23.1%と最も高く、次いで「2～3日」、「10～19日」、「20日以上」の割合が15.4%となっています。



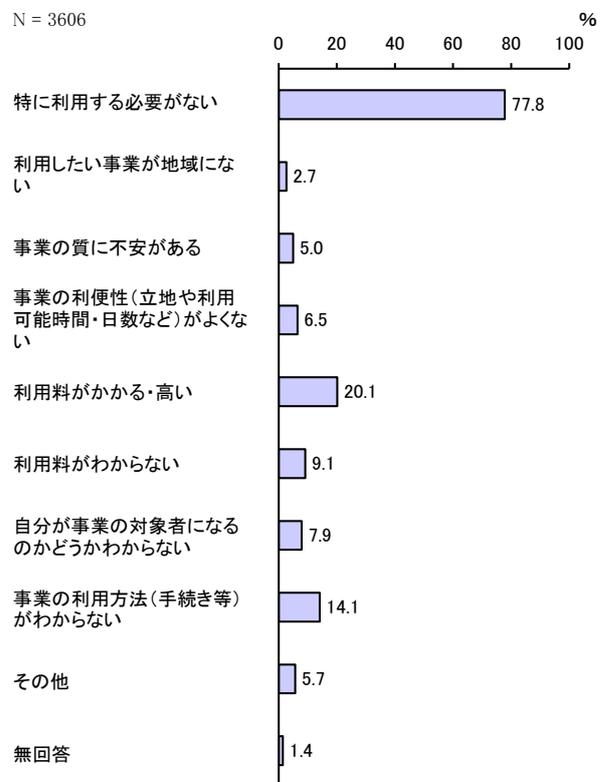
⑤ その他

「20日以上」の割合が22.2%と最も高く、次いで「1日」、「2～3日」の割合が11.1%となっています。



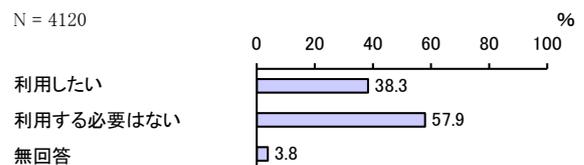
問 20-1 問 20 で「6.」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が77.8%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が20.1%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が14.1%となっています。



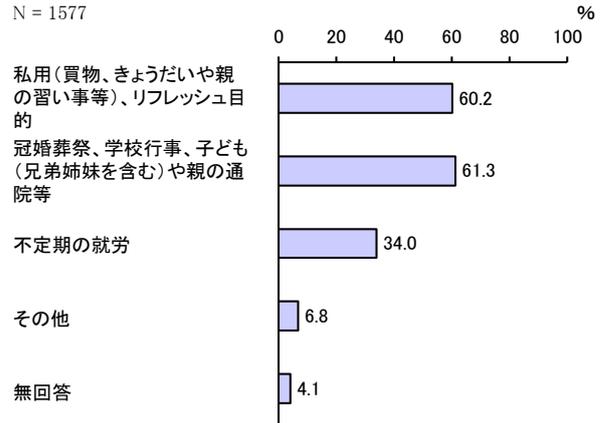
問 21 すべての方にうかがいます。あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、今後、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を口内に記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を記入してください。）

「利用したい」の割合が38.3%、「利用する必要はない」の割合が57.9%となっています。



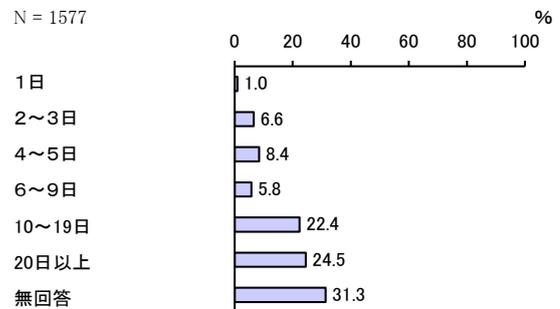
(1) 利用したい目的

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が61.3%と最も高く、次いで「私用（買物、きょうだいや親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が60.2%、「不特定の就労」の割合が34.0%となっています。



(2) 利用したい年間合計日数

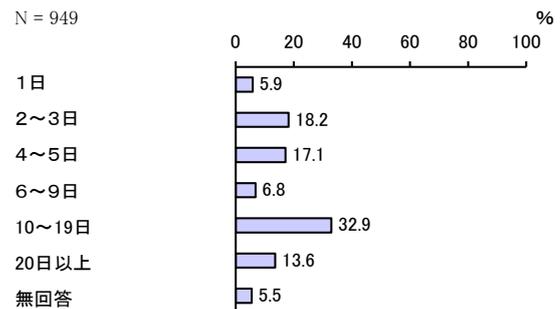
「20日以上」の割合が24.5%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が22.4%となっています。



(3) 利用したい目的別年間合計日数

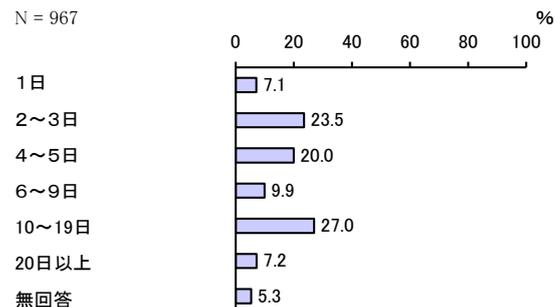
① 私用

「10～19日」の割合が32.9%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が18.2%、「4～5日」の割合が17.1%となっています。



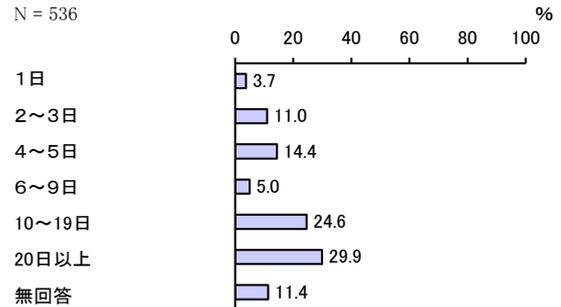
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「10～19日」の割合が27.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が23.5%、「4～5日」の割合が20.0%となっています。



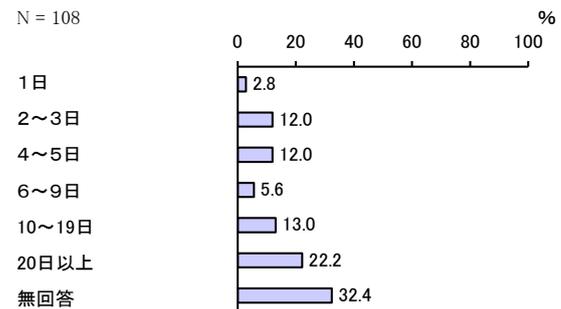
③ 不定期の就労

「20日以上」の割合が29.9%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が24.6%、「4～5日」の割合が14.4%となっています。



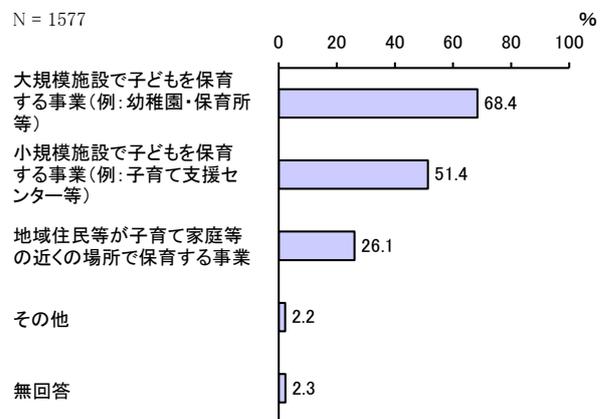
④ その他

「20日以上」の割合が22.2%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が13.0%、「2～3日」、「4～5日」の割合が12.0%となっています。



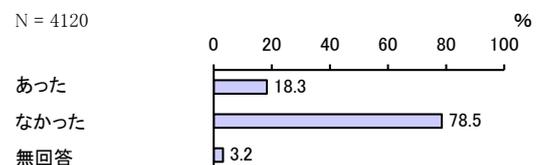
問21-1 問21で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。私用、親の通院、不定期就労等の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」の割合が68.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター等）」の割合が51.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が26.1%となっています。



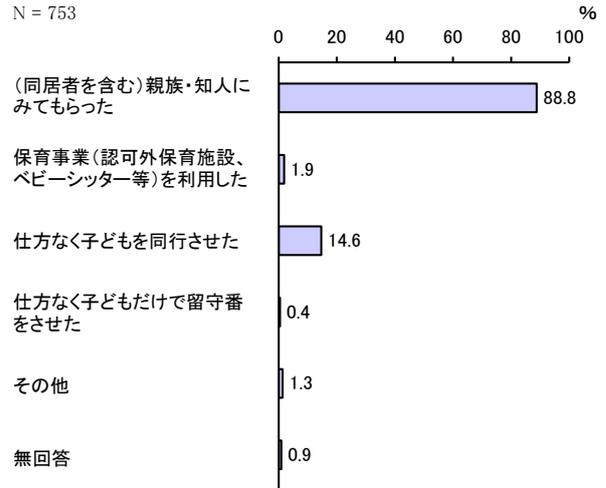
問22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入してください。

「あった」の割合が18.3%、「なかった」の割合が78.5%となっています。



(1) 1年間の対処方法

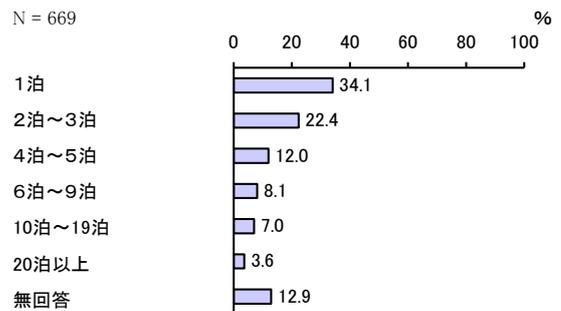
「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が88.8%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が14.6%となっています。



(2) 1年間の対処方法別日数

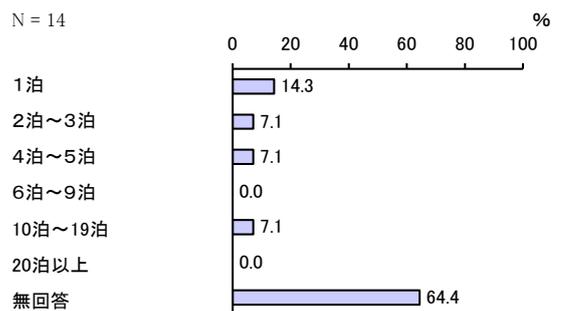
① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

「1泊」の割合が34.1%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が22.4%、「4泊～5泊」の割合が12.0%となっています。



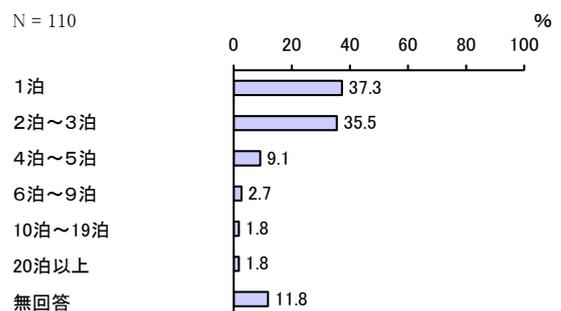
② 保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した

「1泊」の割合が14.3%と最も高くなっています。



③ 仕方なく子どもを同行させた

「1泊」の割合が37.3%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が35.5%となっています。

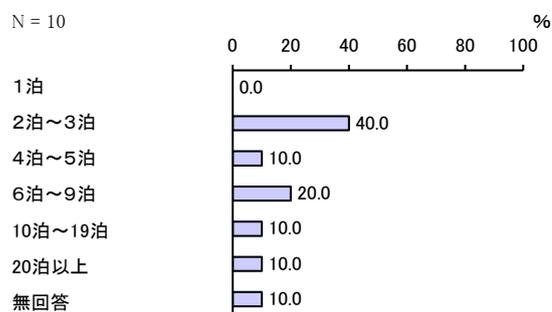


④ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊」が2件、「2泊～3泊」が1件となっています。

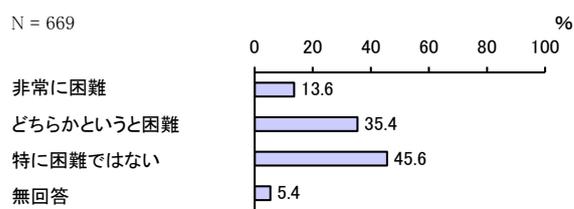
⑤ その他

「2泊～3泊」の割合が40.0%と最も高く、次いで「6泊～9泊」の割合が20.0%、「4泊～5泊」、「10泊～19泊」、「20泊以上」の割合が10.0%となっています。



問 22-1 問 22 で「1. (あった) ア. (親族・知人にみてもらった)」を答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

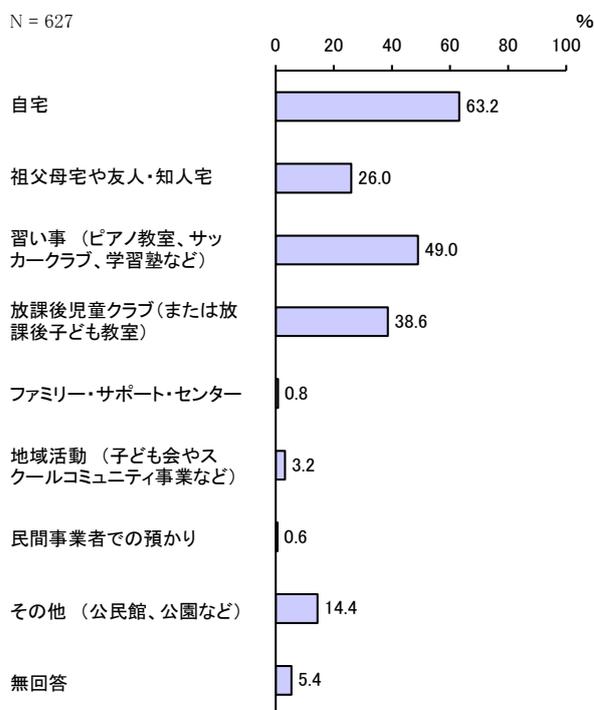
「特に困難ではない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」の割合が35.4%、「非常に困難」の割合が13.6%となっています。



9 お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も記入してください。

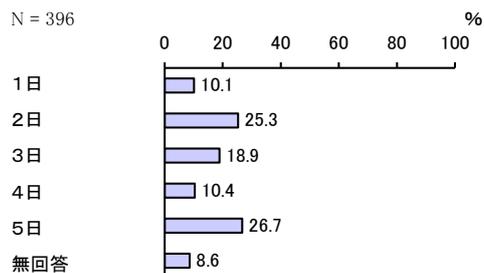
「自宅」の割合が63.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が49.0%、「放課後児童クラブ（または放課後子ども教室）」の割合が38.6%となっています。



(1) 放課後の過ごさせたい場所別週当たり日数

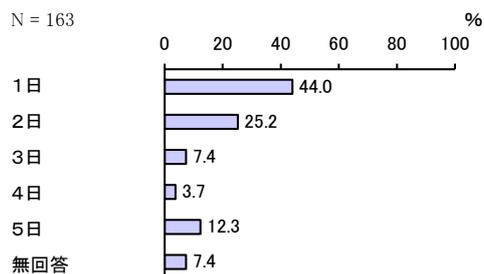
① 自宅

「5日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.3%、「3日」の割合が18.9%となっています。



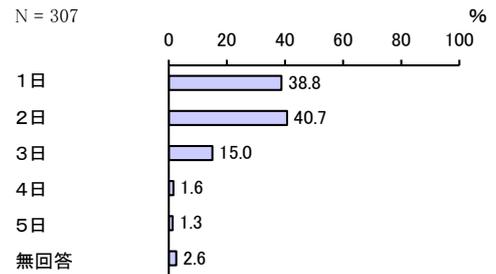
② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が44.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.2%、「5日」の割合が12.3%となっています。



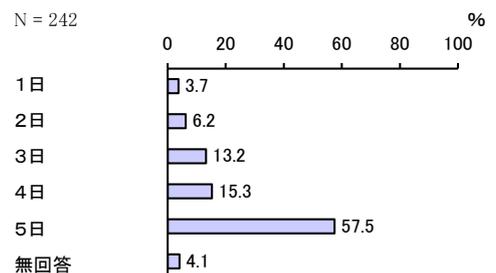
③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が40.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が38.8%、「3日」の割合が15.0%となっています。



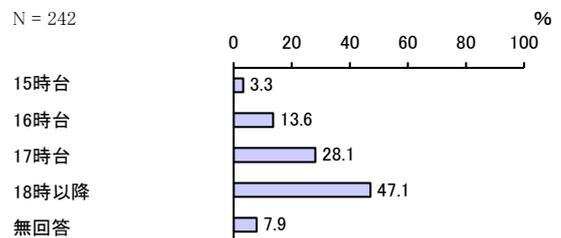
④ 放課後児童クラブ（または放課後子ども教室）

「5日」の割合が57.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が15.3%、「3日」の割合が13.2%となっています。



④-1 利用を希望する時間

「18時以降」の割合が47.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が28.1%、「16時台」の割合が13.6%となっています。

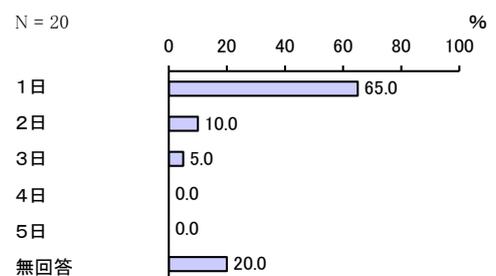


⑤ ファミリー・サポート・センター

「1日」、「5日」が2件、「2日」が1件となっています。

⑥ 地域活動（子ども会やスクールコミュニティ事業など）

「1日」の割合が65.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が10.0%となっています。

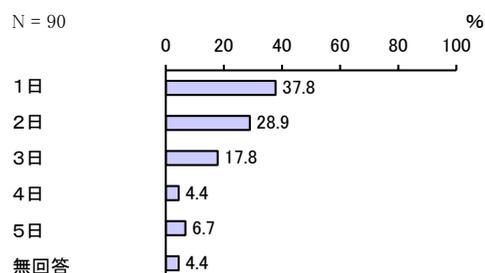


⑦ 民間事業者での預かり

「1日」が2件となっています。

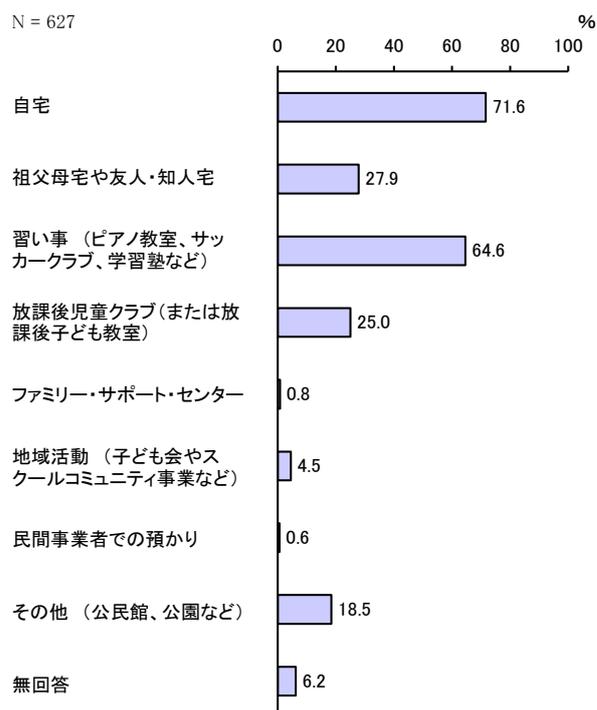
⑧ その他（公民館、公園など）

「1日」の割合が37.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.9%、「3日」の割合が17.8%となっています。



問24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も記入してください。（※だいたひ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。）

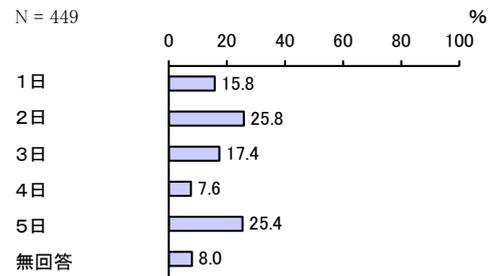
「自宅」の割合が71.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が64.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が27.9%となっています。



(1) 放課後の過ごさせたい場所別週当たり日数

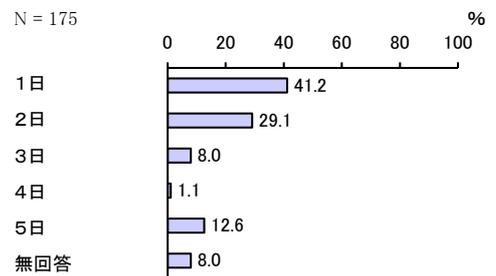
① 自宅

「2日」の割合が25.8%と最も高く、次いで「5日」の割合が25.4%、「3日」の割合が17.4%となっています。



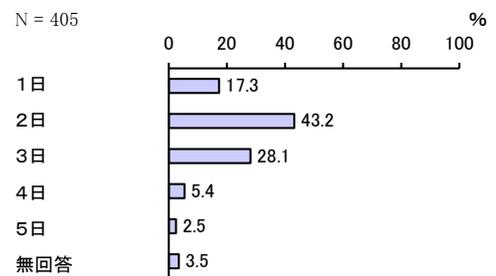
② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が41.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.1%、「5日」の割合が12.6%となっています。



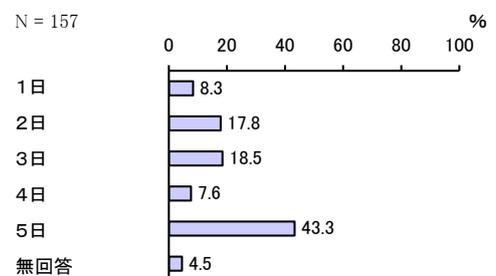
③ 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が43.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.1%、「1日」の割合が17.3%となっています。



④ 放課後児童クラブ (または放課後子ども教室)

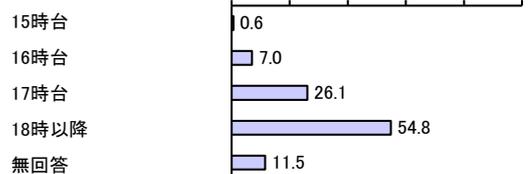
「5日」の割合が43.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.5%、「2日」の割合が17.8%となっています。



④-1 利用を希望する時間

「18時以降」の割合が54.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.1%となっています。

N = 157



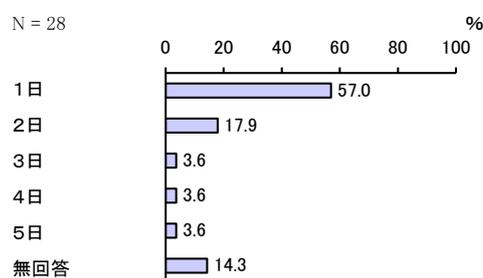
⑤ ファミリー・サポート・センター

「4日」、「5日」が1件となっています。

⑥ 地域活動（子ども会やスクールコミュニティ事業など）

「1日」の割合が57.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.9%となっています。

N = 28



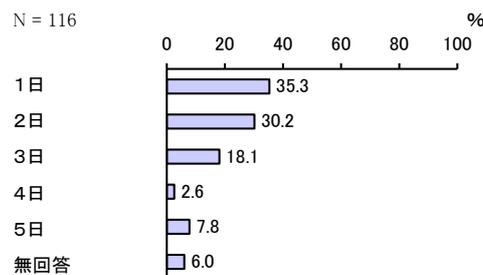
⑦ 民間事業者での預かり

「5日」が2件、「1日」が1件となっています。

⑧ その他（公民館、公園など）

「1日」の割合が35.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.2%、「3日」の割合が18.1%となっています。

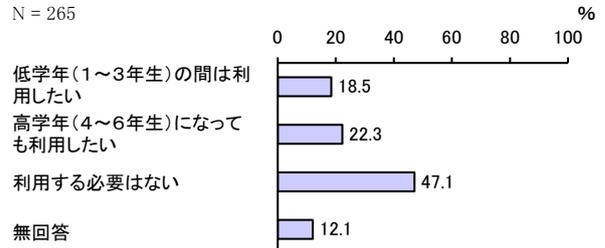
N = 116



問 25 問 23 または問 24 で「4. 放課後児童クラブ（または放課後子ども教室）」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に記入してください。

（1）土曜日

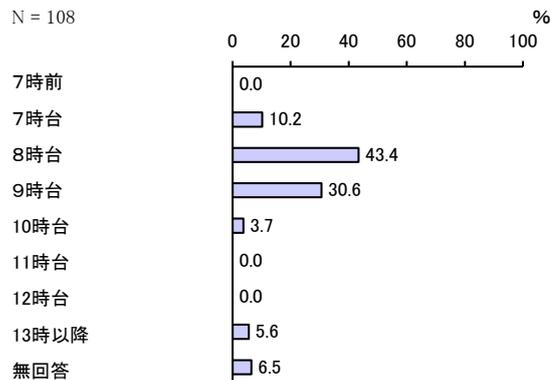
「利用する必要はない」の割合が 47.1% と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 22.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 18.5%となっています。



① 利用したい時間帯

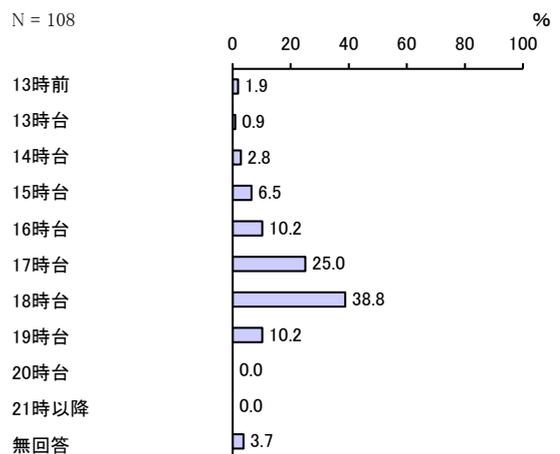
ア 開始時刻

「8時台」の割合が 43.4% と最も高く、次いで「9時台」の割合が 30.6%、「7時台」の割合が 10.2%となっています。



イ 終了時刻

「18時台」の割合が 38.8% と最も高く、次いで「17時台」の割合が 25.0%、「19時台」の割合が 10.2%となっています。

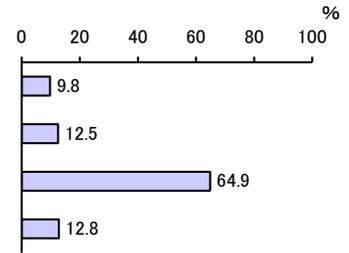


(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 12.5%となっています。

N = 265

低学年(1～3年生)の間は利用したい
高学年(4～6年生)になっても利用したい
利用する必要はない
無回答



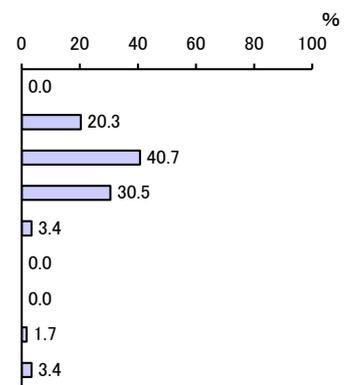
① 利用したい時間帯

ア 開始時刻

「8時台」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 30.5%、「7時台」の割合が 20.3%となっています。

N = 59

7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答

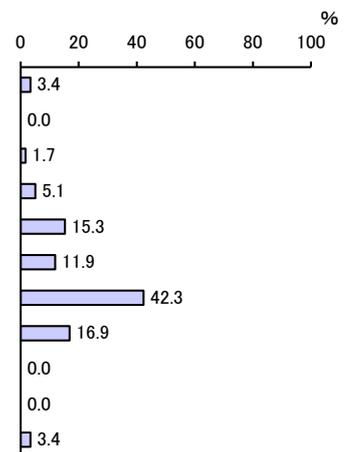


イ 終了時刻

「18時台」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「19時台」の割合が 16.9%、「16時台」の割合が 15.3%となっています。

N = 59

13時前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時台
21時以降
無回答

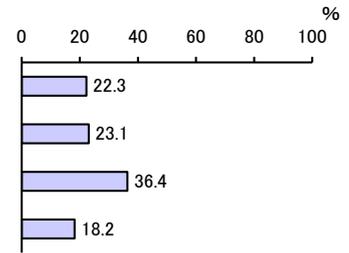


問 26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に記入してください。

「利用する必要はない」の割合が 36.4% と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 23.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 22.3%となっています。

N = 627

低学年(1～3年生)の間は利用したい
 高学年(4～6年生)になっても利用したい
 利用する必要はない
 無回答



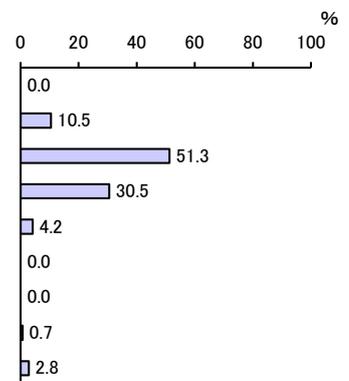
(1) 利用したい時間帯

① 開始時刻

「8時台」の割合が 51.3% と最も高く、次いで「9時台」の割合が 30.5%、「7時台」の割合が 10.5%となっています。

N = 285

7時前
 7時台
 8時台
 9時台
 10時台
 11時台
 12時台
 13時以降
 無回答

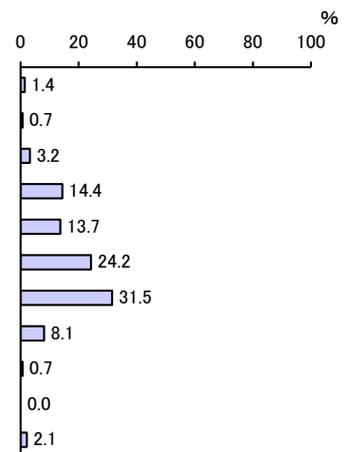


② 終了時刻

「18時台」の割合が 31.5% と最も高く、次いで「17時台」の割合が 24.2%、「15時台」の割合が 14.4%となっています。

N = 285

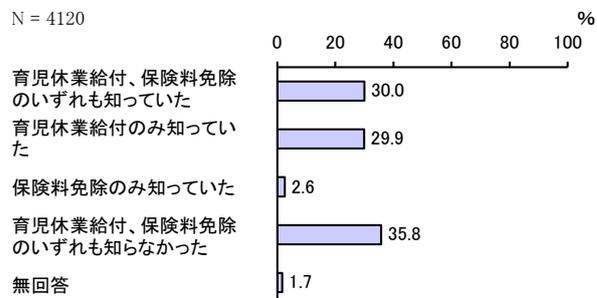
13時前
 13時台
 14時台
 15時台
 16時台
 17時台
 18時台
 19時台
 20時台
 21時以降
 無回答



10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 27 子どもが原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間（※2）について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

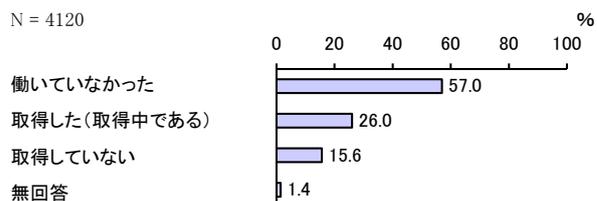
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が35.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が30.0%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が29.9%、「保険料免除のみ知っていた」の割合が2.6%、「無回答」の割合が1.7%となっています。



問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内に数字を記入してください。また、取得していない方はその理由を記入してください。

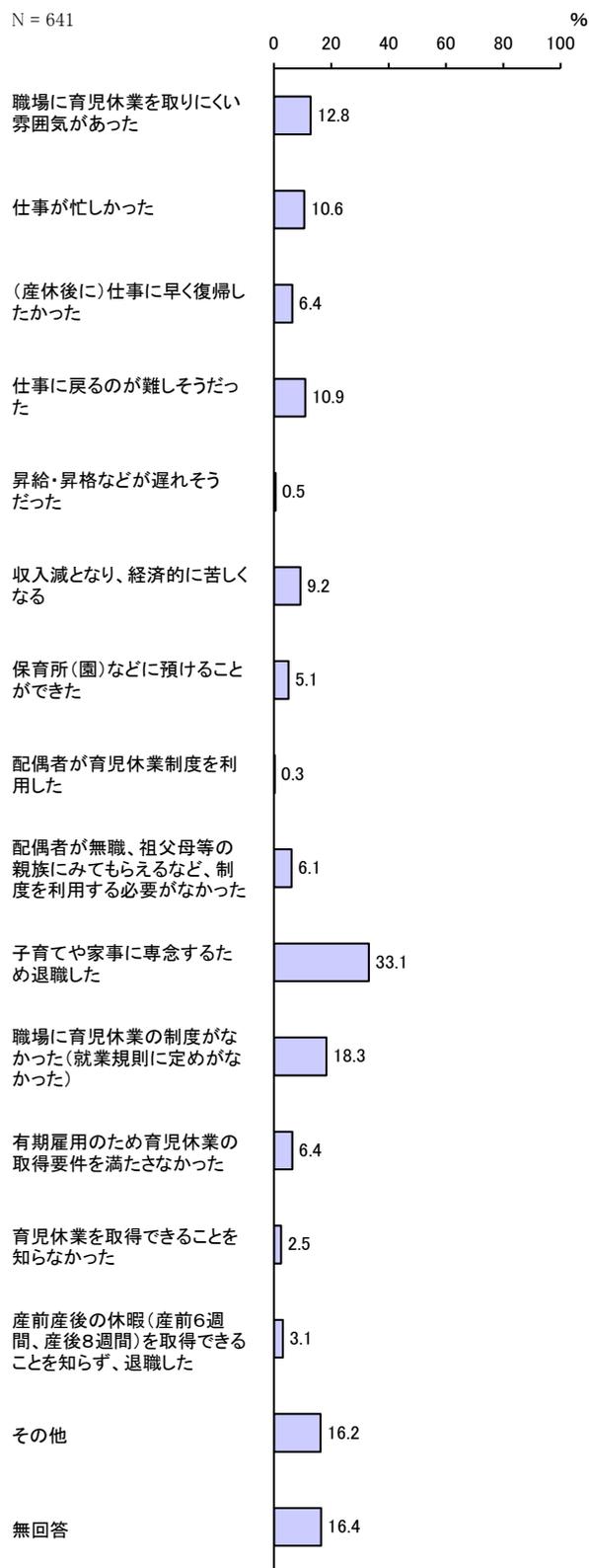
(1) 母親

「働いていなかった」の割合が57.0%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が26.0%、「取得していない」の割合が15.6%となっています。



① 取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が33.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が18.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が12.8%となっています。

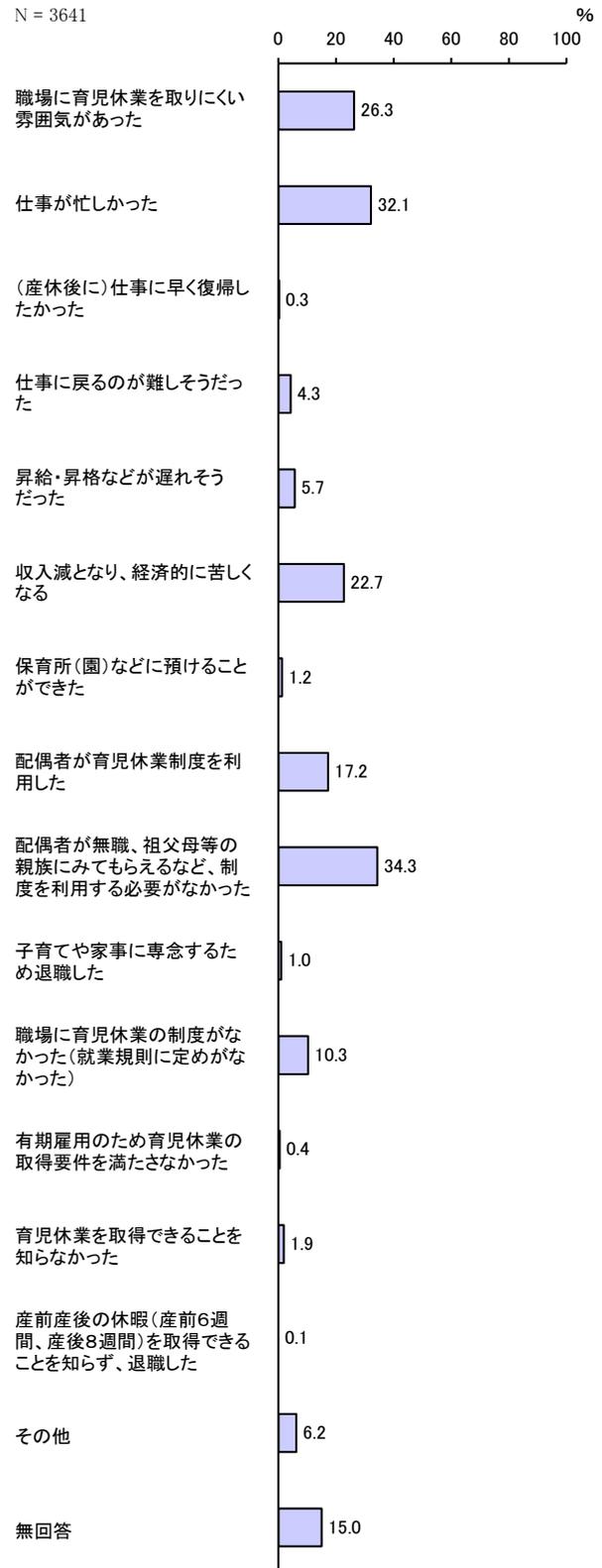
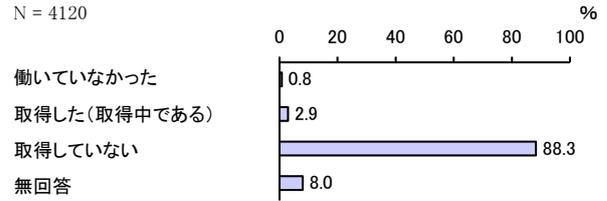


(2) 父親

「取得していない」の割合が88.3%と最も高くなっています。

① 取得していない理由

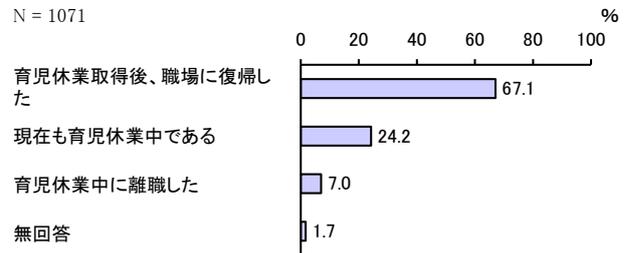
「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が34.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が32.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が26.3%となっています。



問 28-1 問 28 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

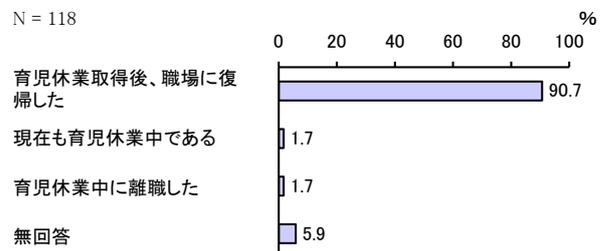
(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 28-2 へ」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 24.2%となっています。



(2) 父親

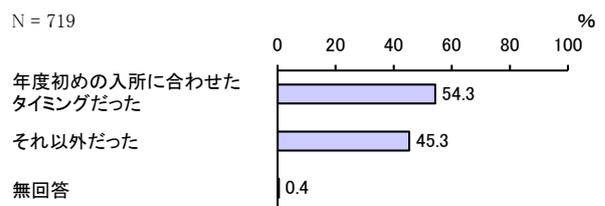
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 90.7%と最も高くなっています。



問 28-2 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 54.3%、「それ以外だった」の割合が 45.3%となっています。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 3.7%、「それ以外だった」の割合が 50.5%となっています。

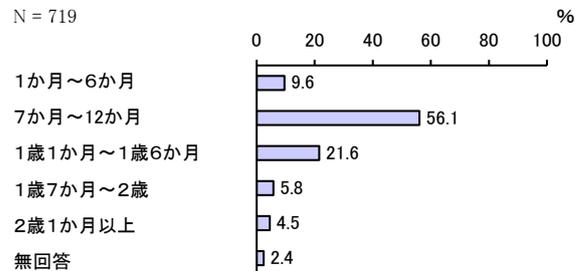


問 28-3 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

(1) 母親

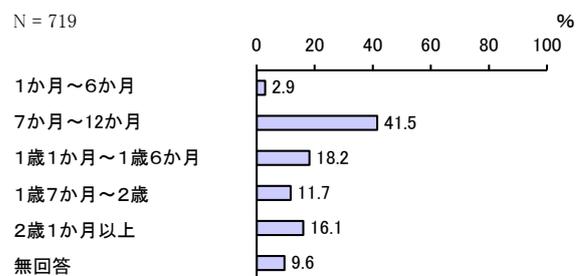
① 実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が56.1%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が21.6%となっています。



② 希望の取得期間

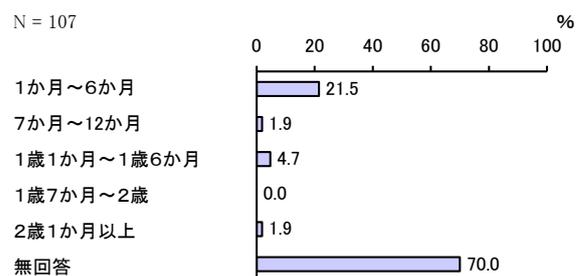
「7か月～12か月」の割合が41.5%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が18.2%、「2歳1か月以上」の割合が16.1%となっています。



(2) 父親

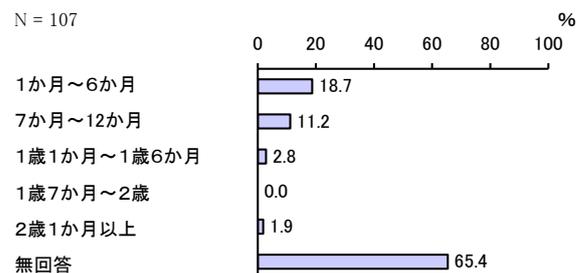
① 実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が21.5%と最も高くなっています。



② 希望の取得期間

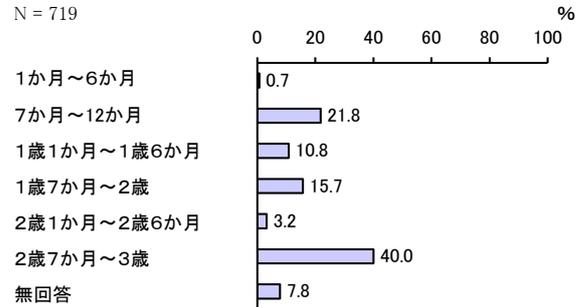
「1か月～6か月」の割合が18.7%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が11.2%となっています。



問 28-4 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

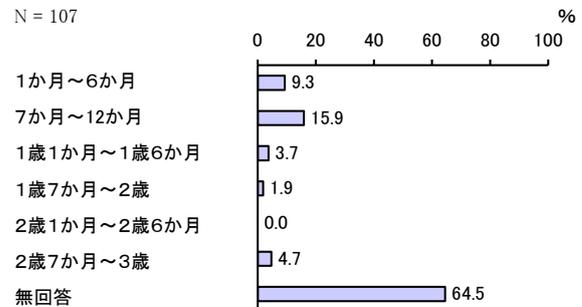
(1) 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が40.0%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が21.8%、「1歳7か月～2歳」の割合が15.7%となっています。



(2) 父親

「7か月～12か月」の割合が15.9%と最も高くなっています。

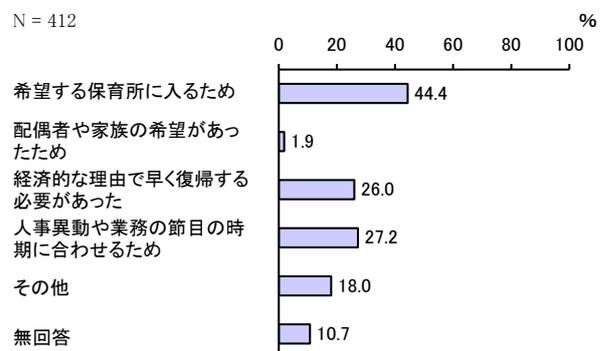


問 28-5 問 28-3 で育児休業の実際の取得期間と希望が異なった方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

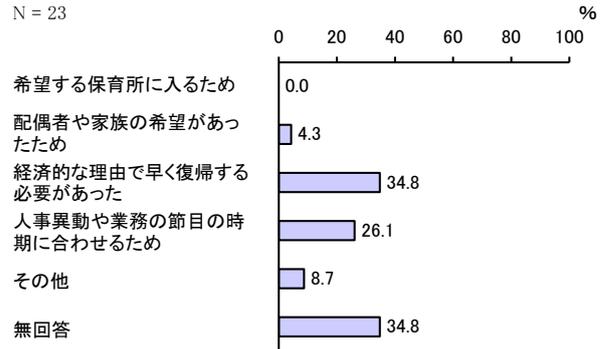
① 母親

「希望する保育所に入るため」の割合が44.4%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が27.2%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が26.0%となっています。



② 父親

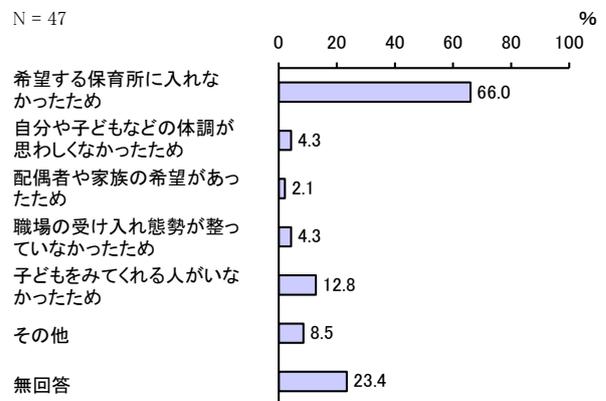
「経済的な理由で早く復帰する必要がある」の割合が34.8%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が26.1%となっています。



(2) 「希望」より遅く復帰した方

① 母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が66.0%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が12.8%となっています。



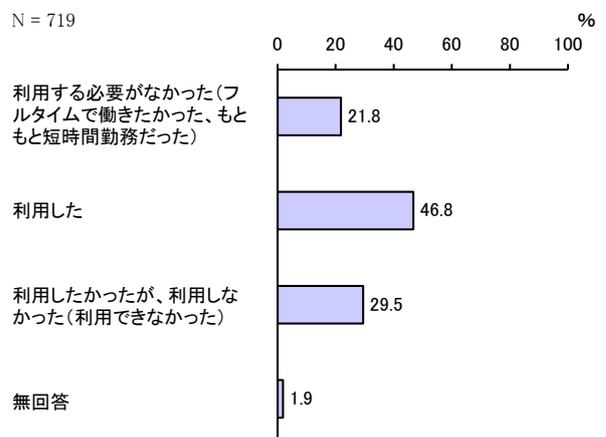
② 父親

有効回答はありません。

問 28-6 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

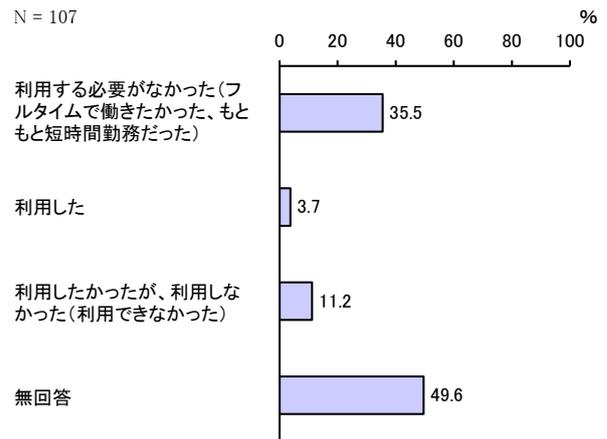
(1) 母親

「利用した」の割合が46.8%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が29.5%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が21.8%となっています。



(2) 父親

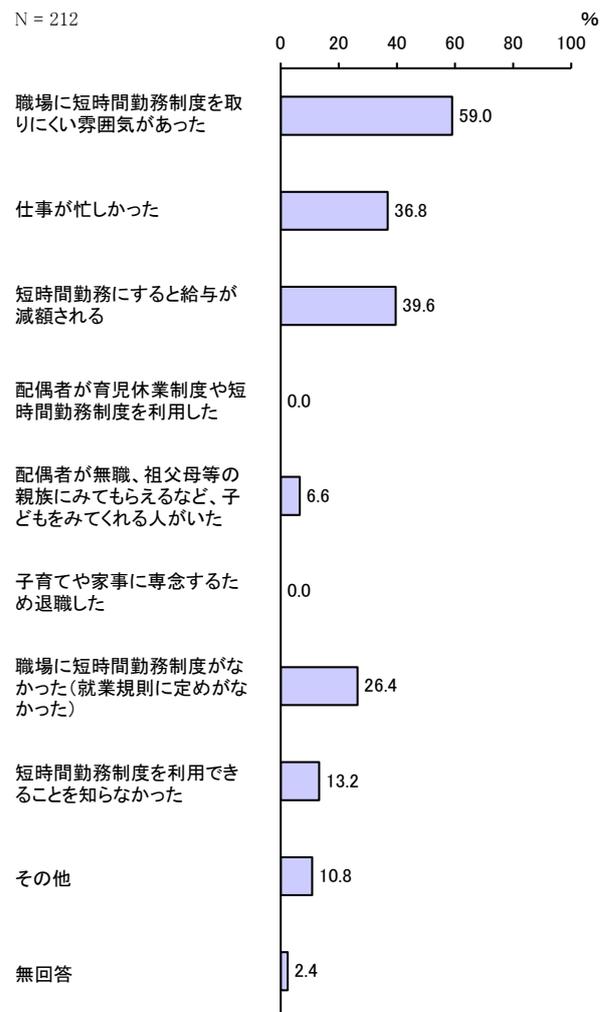
「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 11.2%となっています。



問 28-7 問 28-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

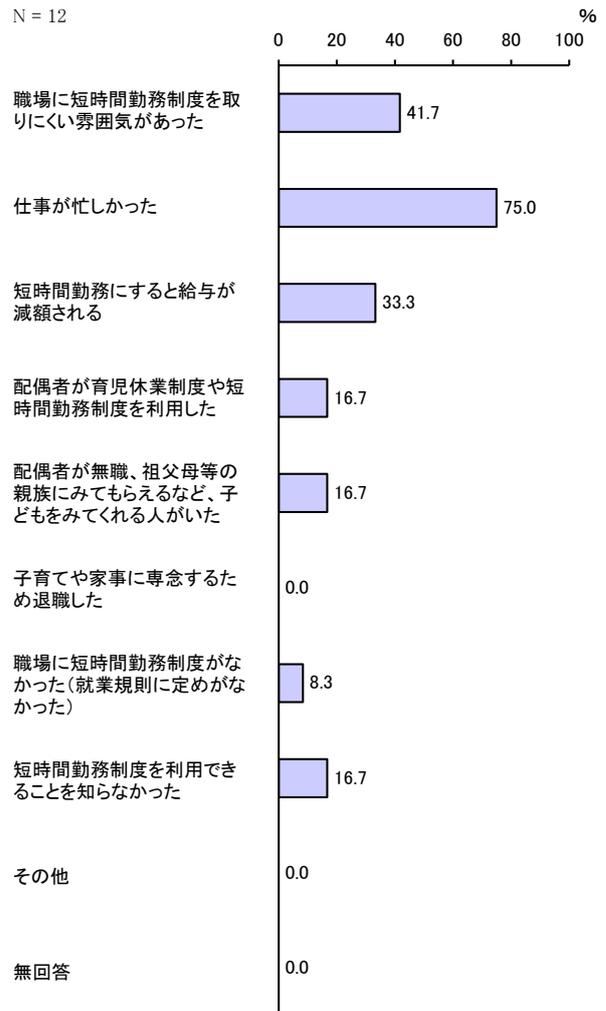
(1) 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 39.6%、「仕事が忙しかった」の割合が 36.8%となっています。



(2) 父親

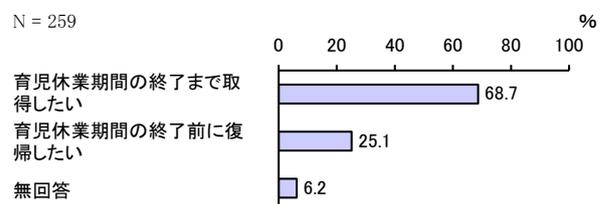
「仕事が忙しかった」の割合が75.0%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が41.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が33.3%となっています。



問 28-8 問 28-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。あて名のお子さんの育児休業が終了する時点で必ず利用できる事業があれば、育児休業期間の終了まで取得しますか。または、預けられる事業があっても育児休業期間の終了前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「育児休業期間の終了まで取得したい」の割合が68.7%、「育児休業期間の終了前に復帰したい」の割合が25.1%となっています。



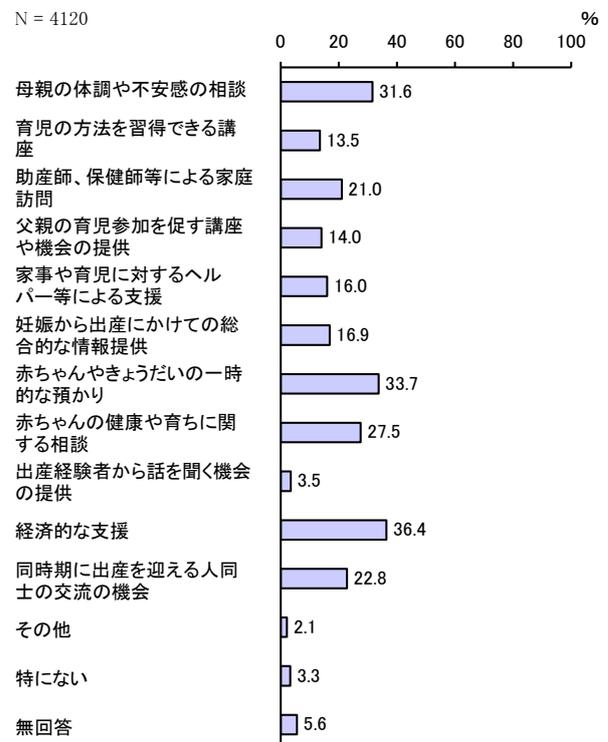
(2) 父親

「育児休業期間の終了まで取得したい」、「育児休業期間の終了前に復帰したい」が1件となっています。

11 子育て全般について

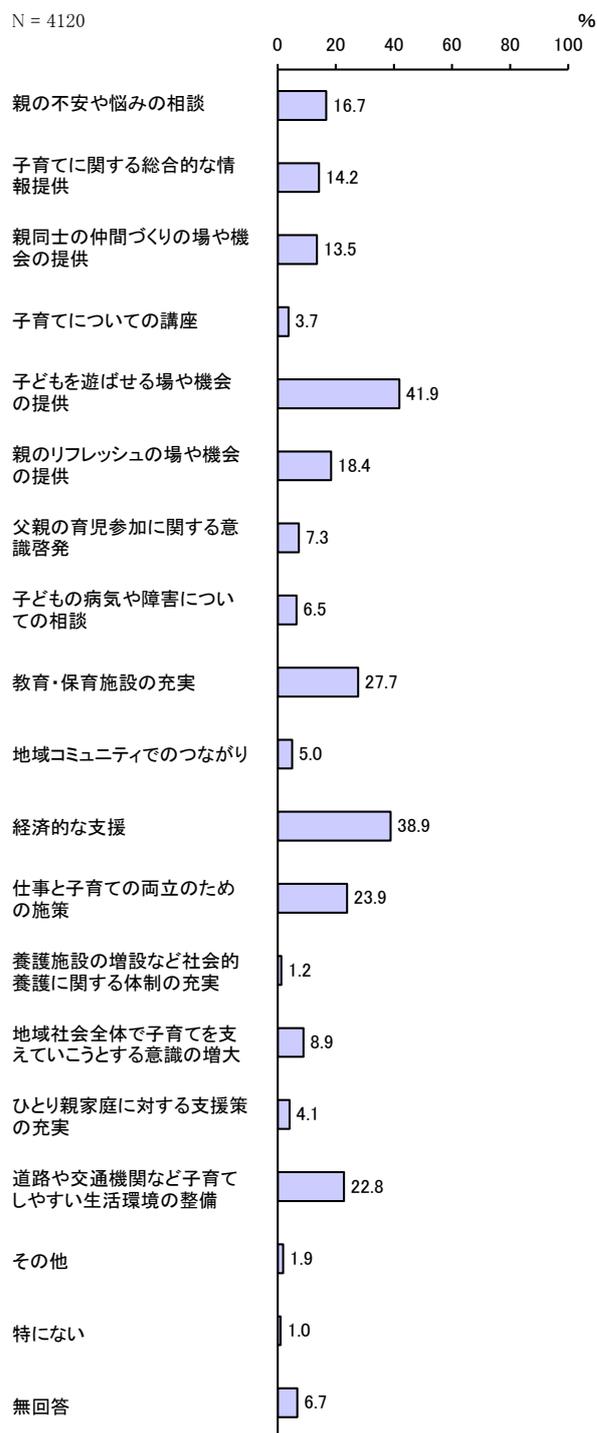
問 29 妊娠中や出産後に、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「経済的な支援」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「赤ちゃんやきょうだいの一時的な預かり」の割合が 33.7%、「母親の体調や不安感の相談」の割合が 31.6%となっています。



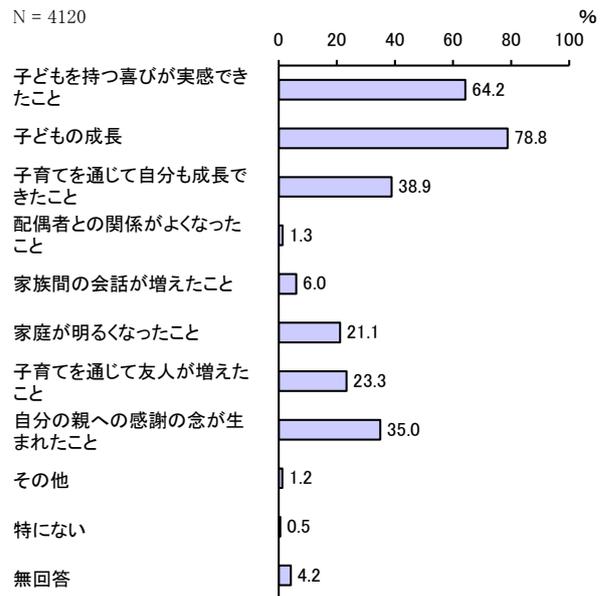
問 30 子育てをしていくうえで、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子どもを遊ばせる場や機会の提供」の割合が41.9%と最も高く、次いで「経済的な支援」の割合が38.9%、「教育・保育施設の充実」の割合が27.7%となっています。



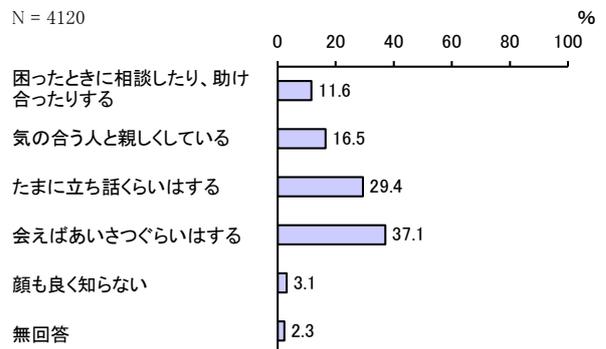
問31 これまで、子育てをしてよかったこと、うれしかったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子どもの成長」の割合が78.8%と最も高く、次いで「子どもを持つ喜びが実感できたこと」の割合が64.2%、「子育てを通じて自分も成長できたこと」の割合が38.9%となっています。



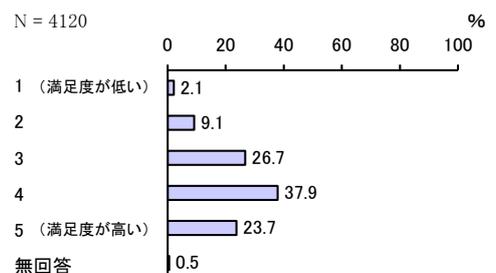
問32 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「会えばあいさつぐらいはする」の割合が37.1%と最も高く、次いで「たまに立ち話ぐらいはする」の割合が29.4%、「気の合う人と親しくしている」の割合が16.5%となっています。



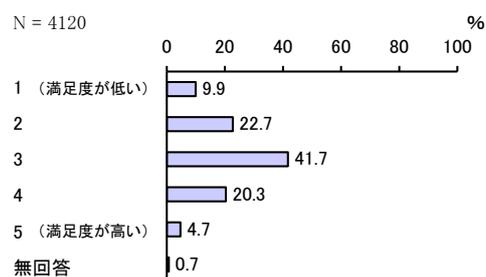
問33 子どもを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「4」の割合が37.9%と最も高く、次いで「3」の割合が26.7%、「5」の割合が23.7%となっています。



問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

「3」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「2」の割合が 22.7%、「4」の割合が 20.3%となっています。



Ⅲ 調査結果のまとめ

1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況（問 12）は、「利用している」の割合が 56.7%、「利用していない」の割合が 43.2%となっています。その利用先（問 12-1）は、「認可保育所」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 33.7%となっています。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所（問 12-3）については、「小田原市内」の割合が 93.5%、「小田原市外」の割合が 5.8%となっています。利用している教育・保育事業を実施場所別にみると、南足柄市、二宮町での「幼稚園」の利用割合が高くなっています。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由（問 12-4）については、「子どもの教育・発達に良い影響をあたえたいので」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 57.9%となっており、保護者の就労等による保育としての機能だけでなく、小学校就学に向けて、子どもの教育や発達に対する役割が期待されていることがわかります。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（問 13）は、「幼稚園」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 53.9%、「幼稚園の預かり保育」の割合が 23.5%となっています。

定期的な教育・保育事業の利用の有無別にみると、現在事業を利用していない人で、「幼稚園」を回答している割合が高くなっていることから、これから就園していく家庭において「幼稚園」のニーズが高くなっていることがわかります。また、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「幼稚園」を希望する割合に対して「認可保育所」を希望する割合が低くなっています。

一方で、母親の就労形態別にみると、フルタイムでは特に「認可保育所」が高く、次いで、「事業所内保育施設」、「ファミリー・サポート・センター」が高くなっています。また、パート・アルバイト等ではフルタイムに比べ「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。適正な教育・保育ニーズを見込むためには、就労状況に応じ家庭の類型化が重要になってくることがわかります。

未就労の母親の就労希望別にみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」との希望を持つ人で「認可保育所」を希望している人が 55.2%となっていることから、1年以内の保育所等の利用につながる潜在的なニーズがあることがわかります。

2 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

子育て支援センターや地域子育てひろばの利用状況（問 14）は、「子育て支援センター」の割合が 32.1%、「地域子育てひろば」の割合が 10.1%、「利用していない」の割合が 63.8%となっており、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「利用していない」割合が高くなっています。

今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思うか（問 15）については、「利用していないが、今後利用したい」の割合が 26.7%と、潜在的なニーズがあることがわかります。

3 子どもの病気の際の対応について

この 1 年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはあるか（問 19）について、「あった」の割合が 80.3%、「なかった」の割合が 17.2%となっており、

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法（問 19-1）は、「母親が休んだ」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 31.0%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 30.6%となっています。

「母親が休んだ」または「父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方で、その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか（問 19-2）について、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合が 32.1%、「利用したいとは思わない」の割合が 65.8%となっています。母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者について「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が 21.5%、「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合が 17.9%と高くなっており、ニーズが浮き彫りになっています。

4 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はあるか（問 20）について、「利用していない」の割合が 87.5%と最も高くなっています。また、利用希望（問 21）については、「利用したい」の割合が 38.3%、「利用する必要はない」の割合が 57.9%となっています。利用する目的については「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が 60.2%、「不定期の就労」の割合が 34.0%となっています。

この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか（問 22）については、「あった」の割合が 18.3%で、その対処方法は「親族・知人にみてもらった」の割合が 88.8%と最も高くなっていることから、公的な保育サービスに依存せず親族や知人に預けることで対応していることがうかがわれます。

5 放課後の過ごし方について

① 小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（問 23）については、「自宅」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 49.0%、「放課後児童クラブ（または放課後子ども教室）」の割合が 38.6%となっています。

② 小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（問 24）については、「自宅」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 64.6%、「祖父母宅や友人知人宅」の割合が 27.9%となっており、学年があがると、放課後児童クラブの利用を希望する割合が小さくなっています。

6 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあることを知っているか（問 27）については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 35.8%と最も高く、制度の一層の周知が必要であることがわかります。

また、お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（問 28）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が 26.0%となっており、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 33.1%と突出しています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が 88.3%と最も高くなっており、取得していない理由については、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「制度を利用する必要がなかった」等様々な理由で取得できていないことから、企業も含めた仕事と子育ての両立支援の環境が必要であることがわかります。

7 子育て全般について

子どもを育てている現在の生活の満足度（問 33）（1：満足度が低い、5：満足度が高い）については、「4」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「3」の割合が 26.7%、「5」の割合が 23.7%となっており、満足度が高い回答割合が高くなっています。一方、小田原市における子育ての環境や支援への満足度（問 34）については、「3」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「2」の割合が 22.7%、「4」の割合が 20.3%となっており、平均的な回答が得られています。

IV 自由意見のまとめ (2229 件)

(1) 子育て支援施設・子育て支援サービスについて (1010 件)

1 保育園 (287 件)

- ・ 待機児童がないよう施設を充実してほしい。
- ・ 保育時間が短すぎる。
- ・ 保育園の質全体を上げてほしい。

2 幼稚園 (187 件)

- ・ 公立幼稚園を増やしてほしい。
- ・ 公立幼稚園を3年保育にしてほしい。
- ・ 公立幼稚園に入園できない。学区があるのがおかしい。

3 各種保育サービス (223 件)

- ・ 一時預かりの場所を増やしてほしい (子育て支援センターなど)。
- ・ 一時保育や病児保育の手続き方法をもっと気軽に使えるよう分かりやすくしてほしい。
- ・ 子育て支援センターを利用しているが、土日祝も子どもを遊ばせられる施設があればよいと思う。

4 学童保育 (放課後児童クラブ) (71 件)

- ・ 放課後児童クラブの規模の拡大 (受け入れ人数・場所など)。
- ・ 放課後児童クラブの3年生から6年生へ伸ばしてほしい。高学年でも不安なこともある。
- ・ 放課後児童クラブについては、民間業者による質の高いサポートを期待したい。

5 学校・教育 (22 件)

- ・ 保育所や放課後の教室を利用した習い事の実施 (通う時間短縮のため)。
- ・ 子どもの数が少ないので小学校を合併するなど、少しでも多いお友だちができる環境が必要と思う。
- ・ 放課後子ども教室のような週末もしくは月2ぐらいのペースでよいので、子どもがスポーツや文化活動、地域の人たちと交流できるような環境を望む。

6 子育てに関する情報 (52 件)

- ・ 自治会に入っていないので、情報を得にくい。定期的に郵送でいろいろな制度、仕組みに関する事などを送っていただきたい。
- ・ パパママ子育て知恵袋メールが2歳までだったが、幼稚園などに入る頃まで3歳もしくは4歳くらいまでであると助かる。
- ・ 「事業内容と利用料」(調査票と一緒に送付したサービスの説明資料)を見て、初めて知った制度なども多くある。子育てに関する情報がもっと集約されて、知らなかったからということのないようになるとよいと思う。

7 子育てに関する相談等(56件)

- 育児相談は子どもの相談はもちろん、悩んで相談にきた母親のカウンセリングも兼ねてほしい。
- 父親の育児参加を強化してほしい。
- 子ども同士のいじめに関して、親を対象とした相談窓口があるとよい。
- 自分から相談に行くのは難しいので、定期的な訪問サービスや電話連絡などがあると助かると思う。

8 ひとり親家庭・障がいのある子どもへの支援等(33件)

- 母子家庭の人でも働きやすい職場などを紹介してくれる場所があるとよいと思う。
- 発達障害のある子が小学校前までしか充実したサポートが受けられない。小・中・高と充実したサポートが受けられ、近くにあると安心できる。数を増やしてほしい。障害別に対応できる施設を増やしてほしい。
- 言語聴覚士による訓練を週1で受けられる体制を整えてほしい。月に1回では就学前までに治らないと思います。また、3歳児での内容はもっと早くに実施した方がよいと思う(視力、聴力など)。

9 その他子育て支援サービス(79件)

- 親が歯医者や美容院に行く時に子どもを一緒に連れて行ける(治療中見ていてもらえる)環境があるとよい。
- 出産後、退院して育児に慣れるまでの間、育児・家事を手伝ってくれる人を派遣してくれるようなシステムがほしい。
- 子どもの精神的なケアをしてくれる所があったらよいと思う。環境が不安定になった時に必要に感じた。

(2) 子育て環境(765件)

10 子どもの遊び場等(470件)

- 子どもらしくのびのびと遊べる所があるとよいと思う。
- 平塚総合公園のような小動物と触れ合えて駐車場が無料で自然が豊かで遊具のある公園があったらよい。
- マロニエのような室内ではなく屋外の公園がほしい。

11 子育てに関するまちづくり(144件)

- 道路や交通機関など生活環境の整備をしてほしい。子どもが安全に暮らせるように。
- 保健センターや子育て支援センター行きのバスなどがあったらよいと思う。平日は主人が車を利用するので。
- 個室の授乳室が増えると助かる。

12 子どもの安全(9件)

- 子どもを安心して学校に行かせられる環境。すべての子どもを事件・事故から守りたい。
- 自転車道路があると安心する。
- 街灯が増えてほしい。
- 小学生の通学、帰宅時間帯を含めた、道路の巡回を警察の方が幅広くしてくれると安心する。

13 地域とのつながり、協力等(38件)

- 働くお母さん達が過ごしやすい環境とサポートが増えるとよいと思う。親にゆとりがあれば子どももすくすくと育つと思う。
- 高齢者と子どもが仲よく安全に遊べる施設。母親が家事をしている間、高齢者と過ごして人生勉強もできる場所があればよいと思う。高齢者もよい刺激を受けて、健康でいられると思う。
- 大人の生活を見ていると、出してはいけない場所にゴミを出す人、子どもが外で遊んでいるのにほったらかしにしている面倒を見ない人、ルールを守れない大人が多すぎる。

14 母子保健・小児医療(42件)

- 子どもたちのためのサポートも大事ですが、親の精神的なサポートはまだまだだと思う。
- 子どもの医療費の免除(予防接種など)。
- 24時間子どもを受け入れる病院が増えて欲しい。

15 公共施設の整備等(62件)

- 授乳室やオムツ替えコーナーのある施設を増やしてほしい。保育園の乳児の受け入れ人数を増やしてほしい。
- 市営プールをきれいに整備してほしい。児童公園の整備。
- バスや電車など交通機関でのサポート。

(3) 子育てに関する親の状況(125件)

16 子育てと仕事の両立

- 子どもに習い事をさせたいと思うが、共働きでフルタイムのため平日は難しい。土・日にはなかなか希望の習い事が見つからず、共働きの家庭でも子どもにそういった選択肢をもっと与えられるようになればよいと思う。
- 子育てと仕事の両立ができる環境づくりをしていただきたいと思う。
- 両親共働きや母子(父子)家庭で子どもを預け、安心して働ける環境を整えてほしい。

(4) 行政について (280 件)

17 金銭的支援等(172 件)

- 子ども手当や小児医療費に所得制限をつけないでほしい。
- 年収により子どもの医療費負担が増加するのはおかしい。
- 妊婦健診費用の補助券があるように、例えば紙おむつ購入時など子育てで使える助成金などが全家庭にあると嬉しい。

18 その他子育てに関する要望(96 件)

- 母子をしっかり守ってもらいたい。
- どこに相談してよいのか分からない。
- 社会構造の築き直しとしての包括的なプランを呈示してほしい。

19 その他子育て以外に関する要望等(12 件)

- 不妊症の方のアドバイスや相談会をつくってほしい。子どもを育てられない人と不妊でなやむ家庭をつなげる愛知県のような取り組みをしてほしい。特別養子縁組など。
- 英語での情報提供、インフォメーションがほしい。

(5) その他 (49 件)

20 アンケートの感想等(40 件)

21 不明(9 件)

V 資料

調査票

小田原市子ども・子育て支援事業計画の 策定に向けたニーズ調査ご協力をお願い

＜未就学児調査＞

市民の皆様には、日ごろから、小田原市政にご協力いただきありがとうございます。

平成24年8月に成立した「子ども子育て支援法」により、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現するため、「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年度からスタートする予定です。

新しい制度では、各自治体ごとに「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされており、計画を策定するにあたっては、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握することとなっています。

そこで、本市では11月1日現在で、市内にお住まいの小学校就学前の児童（平成19年4月2日以降に生まれた児童）の中から無作為に抽出した約7,500名のお子さんを対象に調査を実施させていただくことといたしました。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用されたりすることは一切ございません。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、**平成25年12月6日（金）**までに、同封の封筒（切手不要）に入れて、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、小田原市から株式会社名豊に委託して実施しております。

平成25年11月

小田原市

【ご記入に当たってのお願い】

- このアンケートはあて名に記載されているお子さんについて、保護者の方が、ご記入ください。なお、記入の終わった別紙アンケート用紙（ホチキス止め）のみ、同封の封筒でご返送ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 本調査における施設や事業の内容については、裏面の事業内容と利用料をご覧ください。

このアンケートに関する問い合わせは、下記までお願いいたします。

小田原市子ども青少年部子育て政策課
子育て支援新制度準備係 担当 深井
電話 0465-33-1642
FAX 0465-33-1456

事業内容と利用料

※利用料は現時点でのものであり、平成 27 年 4 月からの子ども・子育て支援新制度により、施設、事業によっては変更されるものがあります。

名称	事業の内容と利用料	問い合わせ先
幼稚園	<p>幼稚園は学校教育法に定められた「学校」で、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とした施設です。</p> <p>多くは満 3 歳から就学前まで、通常 1 日 4 時間の幼児教育を行っています。市内には公立 6 園、私立 10 園があります。</p> <p>■利用料等</p> <p>公立幼稚園 入園料 4,500 円 保育料月額 8,500 円 園により学区が定められています。</p> <p>私立幼稚園 入園料 100,000 円 保育料月額 19,000 円～32,000 円 入園料、保育料は園ごとに異なります。</p> <p>市では、世帯の所得に応じて、保育料負担を軽減するための就園奨励費補助事業を行っています。</p>	<p>教育指導課 電話 33-1682</p>
幼稚園の預かり保育	<p>幼稚園で、通常の就園時間を延長して、在園児を預かるサービスです。利用料は園ごとに異なります。</p>	<p>教育指導課 電話 33-1682</p>
認可保育所	<p>保育所は児童福祉法に定められた「児童福祉施設」で、保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とした施設です。認可基準に適合するものとして県の認可を受け、保護者が就労等の理由により家庭で保育ができない場合に、お子さんをお預かりします。市内には、公立 8 園、私立 23 園(うち 1 園は認定こども園)があります。</p> <p>■利用料等</p> <p>公立、私立ともに保育料月額 0 円～56,000 円 利用料は世帯の所得とお子さんの年齢により決まります。 延長保育には別途料金がかかります。</p> <p>※平成 27 年 4 月からの子ども・子育て支援新制度においては、保育所を利用するための要件が緩和されることが検討されています。</p> <p>例: 短時間のパート勤務、起業のための準備等</p>	<p>保育課 電話 33-1451</p>
認定こども園	<p>保育所と幼稚園の機能を有した施設です。市内には、私立 1 園があります。</p> <p>■利用料等</p> <p>保育所機能部分は、保育料月額 0 円～56,000 円。市の保育料に準じており、世帯の所得とお子さんの年齢により決まります。 幼稚園機能部分は、月額 25,000 円です。</p>	<p>保育課 電話 33-1451</p>
小規模保育施設	<p>平成 27 年 4 月から開始が予定されている子ども・子育て支援新制度で創設される制度で、認可基準に適合した施設で市が認可する定員 6 人から 19 人の小規模な施設です。</p> <p>■利用料等</p> <p>現在国で検討が行われていますが、世帯の所得等によって決める予定です。</p>	<p>保育課 電話 33-1451</p>
家庭的保育	<p>いわゆる保育ママと呼ばれる、保育者の家庭等でお子さんを預かるサービスです。現在、市内では行われていません。</p>	<p>保育課 電話 33-1451</p>
事業所内保育施設	<p>企業や病院において、事業所の従業員のお子さんを預かる施設です。現在、市内には、5 施設があります。</p>	<p>保育課 電話 33-1451</p>
認定保育施設	<p>保育室の面積や開所時間など一定の基準を満たした施設を市が認定し、市が県と協調して助成している施設です。現在、市内では 6 施設が認定を受けています。</p> <p>■利用料等</p> <p>月額 58,000 円を上限として、各施設が定めています。</p> <p>※平成 27 年 4 月からの子ども・子育て支援新制度においては、小規模保育施設や認可保育所に移行することが想定されています。</p>	<p>保育課 電話 33-1451</p>

その他の認可外保育施設	認可や認定を受けていない保育施設等です。現在、市内には、4施設があります。利用料は年齢や利用時間などにより各施設により異なります。	保育課 電話 33-1451
居宅訪問型保育	ベビーシッターのように、保育者が対象児童の家庭内で保育する事業です。	保育課 電話 33-1451
ファミリー・サポート・センター	地域住民による会員相互の子どもの預かりサービスで、保護者の病気や介護等の事情での一時保育や、保育園・幼稚園・小学校等への送迎、保育施設の時間外の保育等に利用できます。 ■利用料等 30分あたり350円～450円の利用料がかかります。	子育て政策課 電話 33-1874 ファミリー・サポート・センター事務局 電話 35-0053
子育て支援センター	子育て中の親子が自由に遊べる「子育てひろば」の開催や、子育ての不安や疑問の相談、子育て情報の提供、子育てに関する講座等の実施をしています。現在、市内4箇所で開催しています。	子育て政策課 電話 33-1874
地域子育て広場	地区民生委員児童委員協議会などが主体となって、未就園の親子の交流や情報交換の場を、公民館など身近な通いやすい場所で開設しています。現在、市内22箇所で開催しています。	子育て政策課 電話 33-1874
病児・病後児保育	病児保育…当面症状の急変はみられないものの、病気の回復期にはなく集団保育が困難な期間に、専用スペース等においてお預かりするサービスです。 病後児保育…病気からの回復期にはあるものの、集団保育が困難な期間に、専用スペース等でお預かりするサービスです。病気回復期かどうかは、医師の診断によります。 現在市内には、病児保育の実施施設はありませんが、病後児保育を2施設で実施しています。 ■利用料等 1日2,000円	保育課 電話 33-1451
一時預かり	認可保育所において、保護者の通院など様々な理由から一時的に家庭で保育できない場合に、お子様をお預かりしています。現在、市内の10園で開催しています。利用料は園によって異なります。	保育課 電話 33-1451
放課後子ども教室	放課後や週末に、小学校や公民館で勉強、スポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動などを体験する取組です。この事業は地域の方々の協力を得て実施するので、現在、小規模特認校制度を取り入れている片浦小学校のみ実施しています。 (「小規模特認校」とは…小規模ならではのきめ細かい指導や地域と連携した特色ある教育活動を実施する学校)	教育総務課 電話 33-1671
放課後児童クラブ	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。 ■利用料等 月額7,000円、その他おやつ代、傷害保険料などががかかります。	青少年課 電話 33-1723
こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までのお子さんのいる全ての家庭を訪問し、子育て支援情報の提供や育児相談などを行う事業です。	子育て政策課 電話 33-1873
子育てマップ(びんたっこ)発行事業	市内の遊び場マップや保育園情報など、子育て世帯に有用な情報を一冊にまとめ、子育て支援センター、妊娠届の窓口、こんにちは赤ちゃん事業の訪問時などを通じて配布する事業です。	子育て政策課 電話 33-1874
ママパパ子育て知恵メール配信事業	妊婦や乳幼児を持つ親等を対象に、妊娠や出産・育児に関する情報をメールで提供し、不安の軽減を図る事業です。	健康づくり課 電話 47-0820
育児相談事業	保健センター等での定例育児相談や地区公民館等での出張相談、保健センターでの電話や来所による相談を実施する事業です。	健康づくり課 電話 47-0820
母子健康教育事業(ママパパ学級など)	妊婦とその家族を対象に、安心して妊娠中の生活が送れ、安全な出産が迎えられるようママパパ学級を行ったり、乳幼児を持つ親を対象に、子育て応援講座で育児に関する情報を提供し、親子教室で育児不安の軽減を図るための教室を実施する事業です。	健康づくり課 電話 47-0820
地域育児センター事業	市内11ヶ所の保育所で行っている子育て支援事業で、しつけ、健康管理などの「育児相談」や「育児情報の提供」、「子育て世帯同士の交流」などを行っています	保育課 電話 33-1451

それぞれの設問をお読みになり、回答をご記入ください。数字でお答えいただく設問については、回答欄の□の中に数字をご記入ください。(一つの枠に一字でご記入ください。)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区の郵便番号を記入してください。

郵便番号 □□□—□□□□

※郵便番号は、回答を地域ごとに集計し、地域ごとの特徴的なニーズを把握するために利用します。個人が特定されることはありません。

封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

平成 □□年 □□月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を記入してください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を記入してください。

きょうだい数 □人 末子の生年月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票に回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------|---|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒ 問7-1へ |
| 2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | ⇒ 問7-2へ |
| 4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒ 問8へ |

問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------------|---|-------|
| 1. 祖父母等には、特に心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } | ⇒ 問8へ |
| 2. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である | | |
| 3. 祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | | |
| 4. 負担をかけていることが心苦しい | | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | | |
| 6. その他 () | | |

問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------------|---|-------|
| 1. 友人・知人には、特に心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | } | ⇒ 問8へ |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | | |
| 4. 負担をかけていることが心苦しい | | |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | | |
| 6. その他 () | | |

問8 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問8-1へ | 2. いない／ない ⇒ 問8-2へ |
|------------------|-------------------|

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター、地域子育てひろば |
| 5. 保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・主任児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市の子育て関連窓口や相談機関 |
| 11. インターネットを通じたつながり | 12. その他 () |

(2)-1 (2)で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を記入してください。
 (日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2)-2 (2)で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 (時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

※ 時刻は24時間制で記入してください

問10 問9の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。(該当しない方は、問11へお進みください。)

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1)または(2)で「5.」「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。(該当しない方は、問12へお進みください。)

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先の時期に、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等

→1週当たり 日 1日当たり 時間

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字で記入してください

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時~	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	--	---	--	--

※ 時刻は24時間制で記入してください

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時~	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
-------	------------------------	-------	--	---	--	--

※ 時刻は24時間制で記入してください

問 12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

1. 小田原市	2. 南足柄市	3. 開成町
4. 大井町	5. 中井町	6. 二宮町
7. 箱根町	8. その他 ()

問 12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育・発達に良い影響をあたえたいので
2. 近所に子どもが少ないので
3. 子どもをみることに負担感があるため
4. 就学に向けての準備として
5. 家事や用事をすませるため
6. 近隣に同年代・同学年の子どもがいないため
7. 子育てをしている方が現在就労している
8. 子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
9. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
10. 子育てをしている方が病気や障害がある
11. 子育てをしている方が学生である
12. その他 (
)

問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質について、納得できる事業がない
8. 利用したいが、場所が遠いなど地理的な条件が合わない
9. 子どもがまだ小さいため (<input type="checkbox"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)
10. その他 ()

問 13 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、お子さんが何歳から利用したいかを口内に記入してください。(選択肢は、平成27年以降の子ども・子育て支援新制度での事業を示しています。内容は、別紙「事業内容と利用料」をご覧ください。)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	<input type="checkbox"/> 歳～	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	<input type="checkbox"/> 歳～
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員20人以上のもの)	<input type="checkbox"/> 歳～	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	<input type="checkbox"/> 歳～
5. 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	<input type="checkbox"/> 歳～	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	<input type="checkbox"/> 歳～
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	<input type="checkbox"/> 歳～	8. その他の認可外の保育施設	<input type="checkbox"/> 歳～
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業)	<input type="checkbox"/> 歳～	10. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="checkbox"/> 歳～
11. その他 ()			

問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

1. 小田原市	2. 南足柄市	3. 開成町
4. 大井町	5. 中井町	6. 二宮町
7. 箱根町	8. その他 ()	

問 13-2 教育・保育事業の事業内容について、特に何を望みますか。当てはまる番号 2 つまでに○をつけてください。

1. 愛着形成や情緒の安定など 人間形成の基礎を培う	2. 社会性の育成 (友達づくり、集団のルール習得等)
3. 基本的な生活習慣の確立	4. 豊かな感性、好奇心、探究心などが 養われる体験
5. 運動能力や体力の向上	6. 小学校との連携
7. 障がい児等特別な支援が必要な 子どもの受け入れ	8. 親の悩みや負担についての相談機能
9. 幼児期に見合った学力の習得	10. 自発的な活動を促し、 主体性を育む教育・保育環境
11. その他 ()	

あて名のお子さんの地域の子育て支援の利用状況についてうかがいます。

※この設問で示されている事業の内容については、別紙「事業内容と利用料」をご覧ください。

問 14 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターや地域子育てひろばを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に記入してください。

1. 子育て支援センター（親子が遊んだり、相談できる場、マロニエなど市内 4 箇所で開催しています。） 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1 か月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. 地域子育てひろば（地域が運営している未就園の親子の交流の場、市内 22 箇所で開催しています。） 1 か月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
3. 利用していない

問 15 子育て支援センターや地域子育てひろばの今後の利用希望について、当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用希望回数（頻度）を口内に記入してください。（開所日や、交通手段の理由から現在利用していない方も、利用可能な状況になった際にはどの程度利用したいか希望をお書きください。）

1. 利用していないが、今後利用したい 1 週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1 か月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1 週当たり 更に <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1 か月当たり 更に <input type="checkbox"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい (満足している)
①ママパパ子育て知恵袋メール配信事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②育児相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③母子健康教育事業(ママパパ学級など)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④地域育児センター事業(保育園で実施)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤こんには赤ちゃん事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育てマップ(ぴんたっこ)発行事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

※この設問で示されている「教育・保育事業」とは幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。
なお、利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日あるいは日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます。)希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に記入してください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	-------------------------

※ 時刻は24時間制で記入してください

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	-------------------------

※ 時刻は24時間制で記入してください

問 17-1 問 17 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に出来ない用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族の介護・看護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、お子さんをお預かりする事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に記入してください。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	---	-------------------------

※ 時刻は 24 時間制で記入してください

問 18-1 問 18 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に出来ない用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族の介護・看護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. 近くに遊ぶ場所が少ない、もしくは近くに友人がいないため。	6. その他 ()

**あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用している方のみ)**

※この設問は、「平日の定期的な教育・保育の事業」を利用している方のみ（問12で「1.」に○をつけた方）お答えください。利用していない方は問20にお進みください。

問 19 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガを理由として通常の教育・保育の事業が利用できなかった（幼稚園・保育園を休んだ）ことはありますか。

1. あった	⇒ 問 19-1 へ	2. なかった	⇒ 問 20 へ
--------	------------	---------	----------

問 19-1 その際に、この 1 年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字で記入してください。（半日程度の対応の場合も 1 日として記入してください。）

1. 父親が休んだ	□□日	⇒ 問 19-2 へ
2. 母親が休んだ	□□日	
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日	⇒ 問 20 へ
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□日	⇒ 問 19-5 へ
5. 病児・病後児の保育を利用した	□□日	
6. ベビーシッターを利用した	□□日	
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日	
8. その他 ()	□□日	

問 19-2 問 19-1 で「1.」「2.」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に記入してください。

(病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。)

- | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|-----------------|
| 1. できれば病後児保育施設等を利用したい | ⇒ | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 | ⇒ | 問 19-3 へ |
| 2. できれば病児保育施設等を利用したい | ⇒ | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 | ⇒ | 問 19-3 へ |
| 3. 利用したいとは思わない | | | ⇒ | 問 19-4 へ |

問 19-3 問 19-2 で「1.」あるいは「2.」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|-------------------|
| 1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 | } ⇒ 問 20 へ |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 | |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 | |
| 4. その他 () | |

問 19-4 問 19-2 で「3.」に○をつけた方にうかがいます。「利用したいとは思わない」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 事業の質に不安がある |
| 3. 事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 事業内容や利用料、利用手続きがわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他 () | |

⇒ **問 20 へ**

問 19-5 問 19-1 で「4.」～「8.」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、問 19-1 で記入した日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についても記入してください。

- | | | | | |
|-------------------|---|---|---|-----------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい | ⇒ | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 | ⇒ | 問 20 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | | | ⇒ | 問 19-6 へ |

問 19-6 問 19-5 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。「休んで看ることは非常に難しい」と思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |

問24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も記入してください。（※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。）

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
4. 放課後児童クラブ（または放課後子ども教室）	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
	→ 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで	
5. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
6. 地域活動（子ども会やスクールコミュニティ事業など）	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
7. 民間事業者での預かり	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい
6. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/>	くらい

問25 問23または問24で「4. 放課後児童クラブ（または放課後子ども教室）」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に記入してください

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			
3. 利用する必要はない			

※ 時刻は24時間制で記入してください

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			
3. 利用する必要はない			

※ 時刻は24時間制で記入してください

問26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に記入してください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			
3. 利用する必要はない			

※ 時刻は24時間制で記入してください

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問27 子どもが原則1歳(※1)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間(※2)について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※1 保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月まで
 ※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

問28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を記入してください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった ⇒ 問29へ 2. 取得した(取得中である) ⇒ 問28-1へ 3. 取得していない ⇒ 問29へ ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">取得していない理由(下から番号を選んで記入してください)(いくつでも)</div>	1. 働いていなかった ⇒ 問29へ 2. 取得した(取得中である) ⇒ 問28-1へ 3. 取得していない ⇒ 問29へ ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">取得していない理由(下から番号を選んで記入してください)(いくつでも)</div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所(園)などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他()

問 28-1 問 28 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問28-2へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 28-8 へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問29へ

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した⇒ 問28-2へ
2. 現在も育児休業中である⇒ 問 28-8 へ
3. 育児休業中に離職した⇒ 問29へ

問 28-2 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合や、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 28-3 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ か月	希望 □ 歳 □ □ か月
--------------------	---------------

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ か月	希望 □ 歳 □ □ か月
--------------------	---------------

問 28-4 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

(1) 母親

□ 歳 □ □ か月

(2) 父親

□ 歳 □ □ か月

問 28-5 問 28-3 で育児休業の実際の取得期間と希望が異なった方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

② 父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

② 父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 28-6 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

すべての方に、子育て全般についてうかがいます。

問 29 妊娠中や出産後に、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 母親の体調や不安感の相談 | 2. 育児の方法を習得できる講座 |
| 3. 助産師、保健師等による家庭訪問 | 4. 父親の育児参加を促す講座や機会の提供 |
| 5. 家事や育児に対するヘルパー等による支援 | 6. 妊娠から出産にかけての総合的な情報提供 |
| 7. 赤ちゃんやきょうだいの一時的な預かり | 8. 赤ちゃんの健康や育ちに関する相談 |
| 9. 出産経験者から話を聞く機会の提供 | 10. 経済的な支援 |
| 11. 同時期に出産を迎える人同士の交流の機会 | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

問 30 子育てをしていくうえで、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 親の不安や悩みの相談 | 2. 子育てに関する総合的な情報提供 |
| 3. 親同士の仲間づくりの場や機会の提供 | 4. 子育てについての講座 |
| 5. 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 6. 親のリフレッシュの場や機会の提供 |
| 7. 父親の育児参加に関する意識啓発 | 8. 子どもの病気や障がいについての相談 |
| 9. 教育・保育施設の充実 | 10. 地域コミュニティでのつながり |
| 11. 経済的な支援 | 12. 仕事と子育ての両立のための施策 |
| 13. 養護施設の増設など社会的養護に関する体制の充実 | 14. 地域社会全体で子育てを支えていこうとする意識の増大 |
| 15. ひとり親家庭に対する支援策の充実 | 16. 道路や交通機関など子育てしやすい生活環境の整備 |
| 17. その他 () | 18. 特になし |

問 31 これまで、子育てをしてよかったこと、うれしかったことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 子どもを持つ喜びが実感できたこと | 2. 子どもの成長 |
| 3. 子育てを通じて自分も成長できたこと | 4. 配偶者との関係がよくなったこと |
| 5. 家族間の会話が増えたこと | 6. 家庭が明るくなったこと |
| 7. 子育てを通じて友人が増えたこと | 8. 自分の親への感謝の念が生まれたこと |
| 9. その他 () | 10. 特になし |

問 32 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 困ったときに相談したり、助け合ったりする | 2. 気の合う人と親しくしている |
| 3. たまに立ち話くらいはする | 4. 会えばあいさつくらいはする |
| 5. 顔も良く知らない | |

問 33 子どもを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して、どのようなサポートや施設があったらよいかなど、意見がございましたら、自由に記入してください。

.....
.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

子ども・子育て支援新制度に係る
電子システム関連基礎データ等調査
調査結果報告書（未就学児調査）

平成 26 年 3 月

発 行: 小田原市 子育て政策課
〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪 300 番地
電話 0465-33-1642

調査実施: 株式会社名豊
〒460-0017 愛知県名古屋市中区松原二丁目 2-33
電話 052-322-0071